

令和4年度芸術文化協会事業の総括

令和4年度も新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年となりました。

令和4年3月21日でまん延防止等重点措置期間は終了しましたが、8月には県内の1日の新規感染者数が12,000人を超え、令和5年1月にも10,000人を超えるなど、感染者数は高止まりの状況が続き、毎日、感染状況に緊張しながら事業を実施してきました。

こうした中、1年を通じて見ると、徹底した感染防止対策の効果もあり、出演者の交代などの対応はありましたが、年度当初に予定していた事業は、中止・縮小をすることなく、ほぼ実施することができました。

特に、芸術文化センターでは、平成17年10月の開館から18年目となる令和4年12月31日に、公演入場者が800万人を超え、また、平成24年11月の開館から10周年を迎えた横尾忠則現代美術館では、令和5年3月18日に展覧会入場者30万人を達成することができました。加えて、尼崎青少年創造劇場では、視覚・聴覚障害者や外国人を対象とした社会包摂事業が評価され、日本アートマネジメント学会賞を受賞するなど、各施設において嬉しい話題のある年となりました。

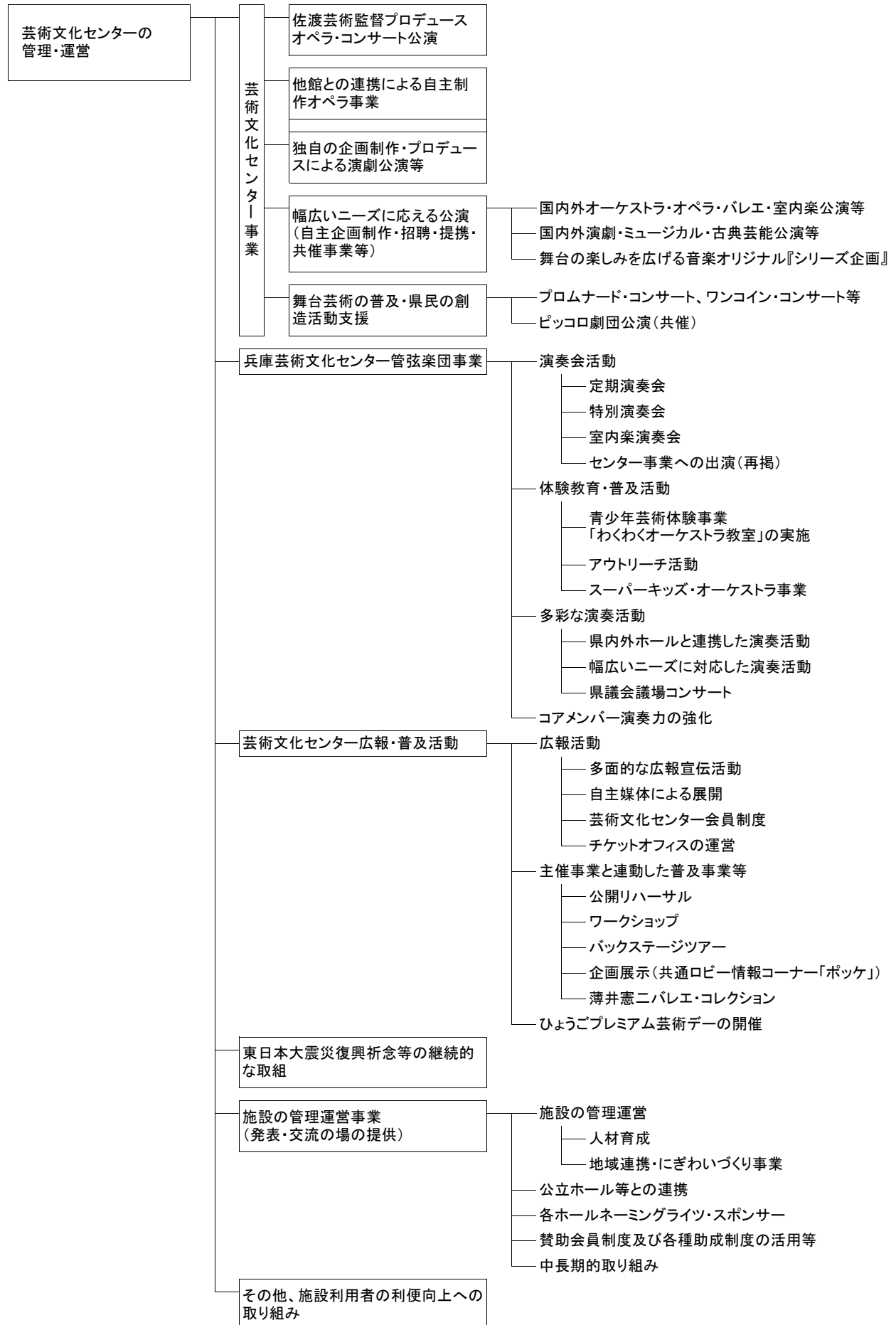
しかしながら、令和4年度の年間の来館者数は、尼崎青少年創造劇場ではコロナ前の約6割、他の施設では同じく約9割という状況です。

加えて、人件費を中心に各種の委託費が引きあがる中で、光熱費が高騰するなど、県立施設の指定管理者としての管理運営には、厳しい年度となりました。光熱費等への県からの追加支援を受けながら、各施設においては、国庫等の獲得、特定資産の活用、諸支出の見直しなどを行いました。結果、公益法人として概ね収支相償を確保できたものの、県民会館は、協会負担が生じる厳しい決算となりました。

令和5年度に入りましても、施設の管理運営は厳しい状況が続いていますが、5月8日には新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザ並みの5類扱いとなり、県の対策本部や対処方針が廃止となるなど感染防止対策は一区切りとなりました。こうしたことから、今後、集客数が徐々に回復することを期待しています。

今後とも、これまでの取組みの成果を活かしつつ、効率的・効果的な事業執行や管理運営に十分留意しながら、県民に質の高い芸術文化を提供できるよう取り組んでいきます。

令和4年度 兵庫県立芸術文化センター 事業体系表



令和4年度 事業報告書

〔芸術文化センターの管理・運営（概要）〕

公演入場者数は、開館以来、年間約 50 万人で推移してきたところ、コロナ禍の令和 2 年度は約 12 万人であったが、令和 4 年度は 428,181 人まで回復し、同年 12 月には累計 800 万人を達成した。

また、新たな試みとして自主製作朗読劇や社会包摂プログラムを実施したほか、芸術文化観光専門職大学の実務研修生を受け入れるなど、アートマネジメントの将来を担う人材育成にも取り組んだ。

コロナ対応では、国・県の対処方針や業界ガイドラインに沿いつつ、感染症アドバイザーの助言も受けながらガイドラインを改正緩和し、コロナ禍前の運営に戻しつつある。

1 芸術文化センター事業

（1）佐渡芸術監督プロデュースオペラ 歌劇「ラ・ボエーム」

令和 4 年 7 月 15 日から 7 月 24 日の日程で、計 8 公演を計画どおり実施した。

また、関連イベントとして、ハイライトコンサートを県内 6 会場で 6 公演、芸術文化センターで 2 公演、ワンコイン・プレ・レクチャーを 2 公演実施した。

（2）芸術文化センター主催事業

コロナ禍の状況下においても、徹底した感染防止対策を講じて、主催公演 313 公演を上演した。主催公演入場者は、令和 2 年度の 90,664 人から、令和 4 年度は 282,257 人まで回復した。

（3）特色あるシリーズ企画・舞台芸術の普及

新たな試みとして、知的・発達障がい児（者）に向けての劇場体験プログラムを開催した。またワンコイン・コンサートなど低料金の公演を通じて、舞台芸術の普及促進・定着を図った。

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

定期演奏会はコロナ禍以前と同様に 1 事業 3 公演で開催し、合計 9 事業 27 公演を実施した。

また、「わくわくオーケストラ教室」も当初の予定どおり 40 公演開催し、令和 4 年度は約 45,000 人の参加を得た。

スーパーキッズ・オーケストラは、大ホールで 2 公演行ったほか、東日本大震災復興祈念演奏活動を被災地の計 8 会場で実施した。

3 芸術文化センター広報・普及活動

情報誌「ひょうご舞台芸術」や会報誌のほか、各種 SNS や動画配信等を活用した広報を展開した結果、先行予約会員がコロナ禍前を上回る 6 万人に達した。また、券売率も 87.8% とほぼコロナ禍前の状況まで回復した。

4 施設の管理運営事業

コロナ対応として、ガイドラインの運用のほか、感染対策アドバイザーのレクチャーや、個別事案の相談結果の全体共有などを行いながら、安全面に配慮した運営を行った。

貸館については、令和 2 年度の 159 公演から令和 4 年度は 359 公演まで回復した。

〔芸術文化センターの管理・運営（評価）〕

1 芸術文化センター事業

コロナ禍中にあったが、独自のプロデュース公演から国内外オーケストラ・オペラ・バレエ・室内楽・ミュージカル・ジャズ、さらに演劇・落語・狂言公演まで、通年の事業計画をほぼ実現することで、若い世代から高齢層にまで上質な鑑賞機会を提供することができた。

- (1) 海外招聘のスタッフ・キャストや大規模合唱・児童合唱を擁し、複雑なアンサンブルと演技が求められるオペラ「ラ・ボエーム」を8回にわたり上演した。さらに、関連公演である「ハイライトコンサート」とともに、全国・県域に兵庫発のオペラプロジェクトを発信した。
- (2) 特色あるシリーズ企画やワンコイン・コンサートを継続実施し、幅広い層に身近な劇場で世界の音楽に親しんでいただく機会を提供できた。
- (3) 河内特別参与企画や子ども向けコンサートなどの独自の企画制作・プロデュース公演を継続するとともに、新たな試みとして、関西出身の俳優に加え、関西の若手俳優を起用した自主製作朗読劇を上演した。同じく新たに社会包摂プログラムを上演し、知的・発達障がい者が地域の劇場で芸術に触れる機会の拡大に貢献した。

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

定期演奏会、楽団公演は中止することなく上演し、当初の予定どおりのプログラムを提供することができ、集客数回復など徐々に好影響が出てきた。

普及・体験事業では、小学校等アウトリーチで実施が少なかった但馬地域で重点実施するなど広く県内に展開し、「わくわくオーケストラ教室」も含め、アンケートで高い評価を得られた。

スーパーキッズ・オーケストラは、佐渡裕芸術監督とともに復興祈念演奏活動として岩手県内、宮城県内8会場に「こころのビタミン」を届け、被災地に喜ばれた。

3 芸術文化センター広報・普及活動

会報誌や公演スケジュールの発行等、従来の紙媒体を中心とした広報を継続しつつ、WebやSNS等を積極的に活用した広域的な広報と普及活動を展開した。

- (1) 会員制度
無料の先行予約会員制度により、会員数は6万人超となった。コロナ禍でありながらも、券売率は87.8%(R1 88.6%)まで回復した。なお、会員からの要望もあり、ペーパーレスの観点から、会報誌送付の可否を選択できるよう変更した。
- (2) チケット販売
コロナ禍の影響でネット販売の普及が進んだ。開館以来の電話販売も継続しつつ、通話録音や自動応答による電話受付のサービス向上も図った。コロナ禍の影響により中止していた毎月の先行発売の再開を機に、券売枚数、券売率はコロナ禍前の状況に戻りつつある。
- (3) 主催事業と連動した普及事業等
県民が舞台芸術に触れる多様な機会を提供するため、公開リハーサル、バックステージツアー等を実施した。舞台芸術への関心を深めるとともに、センターのファン層拡大、認知度向上にも繋がった。

4 施設の管理運営事業

大規模修繕(H28)により、省エネ化、バリアフリー化にも対応した安全・安心な施設運営を行っており、公演の鑑賞はもとより、貸館に対する県民の高いニーズにも対応できた。

- (1) 発表の場の提供
貸館入場者数は145,924人で、コロナ禍前(R1)と比較し、約95%まで回復した。
年間ホール実質稼働日数(大・中・小ホールのいずれかの稼働日数)は326日で、施設利用率(利用日数/開館日数)は各ホールとも基準利用率70%を大幅に上回る高い利用率を維持した(施設稼働率:大ホール93.8%、中ホール95.4%、小ホール95.7%)。県民の鑑賞・創造活動の場としてフルに機能しており、インターネット調査においても、「将来世代に必要な施設」、「地域の魅力を高める施設」との評価を得ている。
- (2) 人材育成
アートマネジメント講座や芸術文化観光専門職大学の臨地実務実習受入れをはじめ、各種研修会の開催、さらに職員の大学等講師派遣などを通じて、舞台芸術界を支える人材育成(基盤整備)にも取り組んだ。
- (3) 地域連携・にぎわいづくり
センターも参画する西北活性化協議会を中心に、毎年、オペラ前夜祭やLALALA ミュージシャン・コンテストを開催し、地域の方々と一体となった「音楽溢れる街づくり」に寄与した。

〔芸術文化センターの管理・運営（詳細）〕

- ① 多彩な舞台芸術の『創造・発信』
- ② 芸術性豊かなものから親近感に富むものまで、『幅広いニーズ』に応える上演
- ③ 舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援

1 芸術文化センター事業

（１）佐渡芸術監督プロデュースオペラ・コンサート公演（KOBELCO 大ホール）

佐渡裕芸術監督ならではの企画による制作・上演。プロデュースオペラは全国的にも珍しい全 8 回ロングラン公演を展開。幅広いオペラファンの獲得・定着をめざした。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
歌劇 「ラ・ボエーム」 (新制作 16 作目) (全 4 幕／イタリア語上演・日本語字幕付き／新制作) (公財)花王芸術・科学財団助成 [(公財)三菱UFJ 信託芸術文化財団助成]	4. 7. 15 ～7. 2 4 (8公演)	演出・美術・衣裳デザイン： ダンテ・フェレッティ 美 術：フランチェスカ・ロ・スキアーヴォ 指 揮：佐渡 裕 演出補：マリーナ・ビアンキ 美術デザイナー補：マッシモ・ラッジ 照 明：マルコ・フィリベック 合唱指揮：シルヴィア・ロッシ 出 演： (ダブルキャスト) ミミ＝フランチェスカ・マンゾ、砂川涼子 ロドルフォ＝リッカルド・デッラ・シュッカ、笛田博昭 ムゼッタ＝エヴァ・トラージュ、ソフィア・ムチエドリシュヴィリ マルチェッロ＝グスターボ・カステーリヨ、高田智宏 シヨナール＝パオロ・イングラショッタ、町英和 コッリーネ＝エウゲニオ・ディ・リエート、平野和 ベノア/アルチンドーロ＝ロッコ・カヴァッルツツィ、片桐直樹 パルピニョール＝清原邦仁、水口健次 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団 合 唱：ひょうごプロデュースオペラ合唱団、 同児童合唱団、ひょうご「ラ・ボエーム」合唱団	12, 762
		〔関連公演〕 2 事業 10 公演 ＊「ハイライトコンサート～ええとこどり！」 県内 6 会場(洲本市 4/17、三田市 4/23、市川町 4/24、 丹波篠山市 5/8、福崎町 5/14、西脇市 5/15)と芸文 センター(4/13～14)で実施 ＊ ワンコイン・プレ・レクチャー(同日 2 回) 6/2 (講師：中村敬一) ＊前夜祭 7/14(高松公園)主催：西北活性化協議会	西宮 (1, 493) 県内ツアー (1, 402) (1, 493)
ジルヴェスター・ガラ・コンサート 2022	4. 12. 31 (1公演)	指 揮：鈴木秀美 独 奏：小林愛実 独 唱：高橋 維、高野百合絵 加来 徹、河野鉄平 合 唱：神戸市混声合唱団 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団 連 携：(公財)神戸市民文化振興財団	1, 863
合 計	2 事業 9 公演 (県内 10 公演)		14, 625 県内 (4, 388)

※芸術文化センター管弦楽団演奏会は別記

(2) 他館との連携による自主制作オペラ事業 (阪急 中ホール)

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
オペラ「夕鶴」 (全1幕/日本語 上演・日本語字 幕) 東大阪公演 [共催] ※令和3年度(2022年3 月)に当センターで上 演したプロダクション の遠征公演。 ※会場: 東大阪市文化創造館 Dream House 大ホール	4. 4. 2 (1公演)	音 楽: 團伊玖磨 作: 木下順二 指 揮: 栗辻聡 演 出: 岩田達宗 出 演: つう=石橋栄実 与ひょう=清水徹太郎 運ず=晴雅彦 惣ど=松森治 児童合唱: 夙川エンジェルコール 管弦楽: ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 主 催: 東大阪市文化創造館 共 催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター (制作)	(567)
オペラ「森は生き ている」 (室内オーケストラ 版/日本語上演・日 本語字幕付)	5. 3. 25 ～26 (2公演)	原 作: サムイル・マルシャーク 訳: 湯浅芳子 台本・作曲: 林光 オケストレーション: 吉川和夫 指 揮: 沼尻竜典 演 出: 中村敬一 美 術: 増田寿子 衣 裳: 半田悦子 照 明: 山本英明 音 響: 小野隆浩 舞台監督: 牧野優 出 演: びわ湖ホール声楽アンサンブル 管弦楽: 日本センチュリー交響楽団 主 催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター 制 作: 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、 兵庫県立芸術文化センター 提 携: 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	1, 034
合 計 2 事業 3 公演			1, 034 東大阪(567)

(3) 独自の企画制作・プロデュースによる演劇公演/兵庫県ゆかりの古典芸能
(阪急 中ホール)

芸文センター独自に企画・制作し上演する良質で多彩な演目により新たなファンも発掘した。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
朗読劇 100年の詩物語 「アネト～姉と弟の八 十年間の手紙～」	4. 11. 23 (1公演)	作・演 出: 土田英生 出演: 南野陽子、林田一高 ほか	543
(河内特別 古典芸能 参与企画)	4. 7. 6 (1公演)	お 話: パウロ 酒井俊弘 (カトリ ック大阪大司教区 補佐司 教) トーク: 豊竹呂太夫、パウロ 酒井 俊弘、河内厚郎(兵庫県立芸術文化 センター特別参与) 出 演: 豊竹呂太夫、鶴澤清友、 豊松清十郎ほか	713

演 目		公演年月日	出演者等	入場者(人)
(河内特別 古典芸能 参与企画)	染殿寄席 (そめどのよせ) (神戸女学院小ホール)	4. 9. 10 (1公演)	出 演：林家染二、月亭文都、林家 花丸、露の団姫、吉田光華 トーク：河内厚郎 (兵庫県立芸術文化センター特別参与) 辰馬朱満子(白鷹緑水苑)	268
こども向け コンサート	宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル♪ (KOBELCO 大ホール)	4. 5. 5 (1公演)	出 演：宮川彬良&アンサンブル・ ベガ	909
社会包摂 プログラム	知的・発達障がい児 (者) にむけての劇場体験プ ログラム 劇場つてたのしい!!in 兵庫県立芸術文化センター (KOBELCO 大ホール)	5. 3. 12 (1公演)	企画・コーディネート：国際障害者交流 センタービッグ・ アイ 制 作：兵庫県立芸術文化センター	382
合 計		5 事業	5 公演	2, 815

(4) 幅広いニーズに応える公演（自主企画制作・招聘・提携・共催事業等）

① 国内外オーケストラ・オペラ・バレエ・室内楽公演等

音楽マネジメント事務所等との連携により、国内トップレベルのオーケストラ、オペラ、バレエ公演をはじめ、様々な国の優れた舞台芸術を上演し、観客の期待に応えるとともに、大規模舞台芸術専門劇場としての存在感をアピールした。

演 目		公演年月日	出演者等	入場者(人)
世界の オーケ ストラ ・合 唱	ヤニック・ネゼ＝セガン指揮 METオーケストラ (メトロ ポリタン歌劇場管弦楽団) [フジテレビジョン/関西テレビ放送共催] (KOBELCO 大ホール)	4. 6. 25 ～26 (2公演)	指 揮：ヤニック・ネゼ＝セガン 管弦楽：METオーケストラ (メトロ ポリタン歌劇場管弦楽団) ほか	新型コロナウイ ルス感染症の影 響により中止
	ズービン・メータ指揮 バイエルン放送交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	4. 11. 27 (1公演)	指 揮：ズービン・メータ 管弦楽：バイエルン放送交響楽団	新型コロナウイ ルス感染症の影 響により中止
	ウィーン・シュトラウス・ フェスティヴァル・ オーケストラ (KOBELCO 大ホール)	5. 1. 7 (1公演)	管弦楽：ウィーン・シュトラウス・フェ スティヴァル・オーケストラ	1, 387

演 目		公演年月日	出演者等	入場者 (人)
世界の巨匠	シプリアン・カツァリス ピアノ・リサイタル (KOBELCO 大ホール)	4. 4. 23 (1公演)	ピアノ：シプリアン・カツァリス	880
	平崎真弓&ロレンツォ・ギエルミ (神戸女学院小ホール)	4. 6. 5 (1公演)	バロック・ヴァイオリン：平崎真弓 チェンバロ：ロレンツォ・ギエルミ	417
	ダン・タイ・ソン ピアノ・リサイタル (KOBELCO 大ホール)	4. 9. 1 (1公演)	ピアノ：ダン・タイ・ソン	1, 985
	アントワン・タメステイ&鈴木優人 デュオ・リサイタル (神戸女学院小ホール)	4. 10. 10 (1公演)	ヴィオラ：アントワン・タメステイ チェンバロ：鈴木優人	413
	ホセ・カレーラス テノール・リサイタル ～想いの届く日～ [読売テレビ/キョードー共催] (KOBELCO 大ホール)	4. 10. 30 (1 公演)	テノール：ホセ・カレーラス ピアノ：ロレンツォ・バヴァーイ	1, 475
	マリオ・ブルネロ 無伴奏チェロ&チェロ・ピッコロ・リサイタル (神戸女学院小ホール)	4. 11. 5 (1公演)	チェロ&チェロ・ピッコロ：マリオ・ブルネロ	414
	ロナルド・ブラウティハム フォルテピアノ・リサイタル (神戸女学院小ホール)	4. 11. 26 (1公演)	フォルテピアノ：ロナルド・ブラウティハム	346
	堀米ゆず子&ヴァレリー・アフアナシエフ (KOBELCO 大ホール)	4. 12. 4 (1公演)	ヴァイオリン：堀米ゆず子 ピアノ：ヴァレリー・アフアナシエフ	1, 048
日本を代表する音楽家たち	フルートとハープ バレンタイン♡コンサート カール＝ハインツ・シュッツ&吉野直子 (KOBELCO 大ホール)	5. 2. 12 (1公演)	フルート：カール＝ハインツ・シュッツ ハープ：吉野直子	1, 336
	仲道郁代 ピアノ・リサイタル～知の泉 (KOBELCO 大ホール)	4. 5. 22 (1公演)	ピアノ：仲道郁代	1, 568
	新イタリア合奏団 「四季」 (KOBELCO 大ホール)	4. 11. 12 (1公演)	出 演：新イタリア合奏団& 村治奏一（ギター）	1, 046
	尾高忠明指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	4. 11. 13 (1公演)	指 揮：尾高忠明 管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団	1, 697

演 目		公演年月日	出演者等	入場者(人)
日本を代表する音楽家たち	上岡敏之 ピアノ・リサイタル (神戸女学院小ホール)	4. 4. 9 (1公演)	ピアノ：上岡敏之	263
	荘村清志・福田進一・鈴木大介・大萩康司 DUO×DUO (神戸女学院小ホール)	4. 6. 19 (1公演)	出 演：荘村清志・福田進一・鈴木大介・大萩康司 (ギター)	415
	河村尚子 ピアノ・リサイタル (神戸女学院小ホール)	4. 9. 19 (1公演)	ピアノ：河村尚子	415
	奇跡の四重奏 樫本大進&赤坂智子&ユリアン・シュテッケル&藤田真央 (KOBELCO 大ホール)	4. 11. 27 (1公演)	ヴァイオリン：樫本大進 ヴィオラ：赤坂智子 チェロ：ユリアン・シュテッケル ピアノ：藤田真央	1, 988
	児玉桃 メシアン・プロジェクト (神戸女学院小ホール)	4. 12. 11 (1公演)	ピアノ：児玉桃 共 演：竹澤恭子 (ヴァイオリン) 横坂 源 (チェロ)、 吉田 誠 (クラリネット)	412
	宮川彬良&アンサンブル・ベガ ニューイヤーコンサート (神戸女学院小ホール)	5. 1. 6 (1公演)	出 演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ	395
	前橋汀子&弦楽アンサンブル (KOBELCO 大ホール)	5. 1. 21 (1公演)	出 演：前橋汀子 (ヴァイオリン) & 弦楽アンサンブル	1, 477
	川口成彦 フォルテピアノ・リサイタル (神戸女学院小ホール)	5. 3. 11 (1公演)	フォルテピアノ：川口成彦	415
	小菅優 ソナタ・シリーズ「開花」 ピアノ・リサイタル (神戸女学院小ホール)	5. 3. 19 (1公演)	ピアノ：小菅優	415
その他クラシック・コンサート、リサイタル等	高本一郎 リュートの楽園 (神戸女学院小ホール)	4. 4. 24 (1公演)	リュート：高本一郎 ほか	415
	サラ・オレイン Fantasy の扉を開けて！ [民音共催] (KOBELCO 大ホール)	4. 5. 27 (1公演)	出 演：サラ・オレイン ゲスト：岡本知高 (ソプラニスタ)	1, 949
	上野耕平 サクソフォン・ソロ・リサイタル (神戸女学院小ホール)	4. 5. 28 (1 公演)	サクソフォン：上野耕平	414
	のだめカンタービレの音楽会 [関西テレビ共催] (KOBELCO 大ホール)	4. 7. 30 ～31 (2公演)	管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団	3, 165
	アリーナ・イブラギモヴァ 無伴奏ヴァイオリン・リサイタル (KOBELCO 大ホール)	4. 9. 10 (1公演)	ヴァイオリン：アリーナ・イブラギモヴァ	866

演 目		公演年月日	出演者等	入場者(人)
その他クラシック・コンサート、リサイタル等	タカーチ弦楽四重奏団 (神戸女学院小ホール)	4. 10. 1 (1公演)	出 演：タカーチ弦楽四重奏団	406
	ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト (神戸女学院小ホール)	4. 10. 2 (1公演)	出 演：ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト	415
	ベルチャ弦楽四重奏団 (神戸女学院小ホール)	4. 10. 8 (1公演)	出 演：ベルチャ弦楽四重奏団	407
	マリコとオペラ！ ～作家・林真理子が誘う 魅惑のオペラ～ [関西テレビ放送共催] (KOBELCO 大ホール)	4. 11. 30 (1公演)	出 演：林真理子（作家） 小林沙羅（ソプラノ） 西村悟（テノール）ほか	1,057
	東京バレエ団「くるみ割り人形」 (KOBELCO 大ホール)	4. 12. 23 (1公演)	出 演：東京バレエ団 演 奏：大阪フィルハーモニー交響楽団	1,944
	ジャパン・ヴィルトオーズ・シンフォニー・オーケストラ第11回兵庫公演 (KOBELCO 大ホール)	5. 1. 4 (1公演)	出 演：HIMARI（ヴァイオリン） 管弦楽：ジャパン・ヴィルトオーズ・シンフォニー・オーケストラ	1,937
	イリーナ・メジューエワ ピアノリサイタル (神戸女学院小ホール)	5. 1. 29 (1公演)	ピアノ：イリーナ・メジューエワ	417
	関西二期会 オペラ「魔笛」 [関西二期会共催] (阪急中ホール)	5. 2. 25 ～26 (2公演)	指 揮：Ken Yanagisawa 演 出：高岸末朝 出 演：関西二期会	1,225
	生オケ・シネマ チャップリン「街の灯」 (KOBELCO 大ホール)	5. 3. 4 (1公演)	指 揮：竹本泰蔵 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団	1,842
	延原武春指揮 テレマン室内オーケストラ ～テレマンのテレマン (神戸女学院小ホール)	5. 3. 9 (1公演)	出 演：テレマン室内オーケストラ	412
合 計		37事業	39公演	37,078

※共催事業：①芸文センターのコンセプトに合致、ラインナップとバランス・整合・補強するもので、②共催者からの提案・事業誘致（営業）によって選定し、③広報券売協力に加え、収支リスク負担・施設設備使用料負担について条件協議を行う事業

② 国内外演劇・ミュージカル・古典芸能公演等（阪急 中ホール）

劇場・劇団とのネットワークにより、ストレートプレイ、一人芝居などの演劇をはじめ、ミュージカル、ダンス、狂言、落語など、幅広い層が楽しめる良質で多彩な演目を提供するとともに、シアターコンサート等、芸術文化センターならではの企画を展開した。

演 目		公演年月日	出演者等	入場者 (人)
演劇・ミュージカル等 (良質な作品制作実績のある公共劇場との連携)	お勢、断行 *世田谷パブリックシアターとの連携	4. 5. 28 ～29 (3公演)	演 出：倉持裕 出 演：倉科カナ、福本莉子、江口のりこ ほか	2, 180
	ロビー・ヒーロー *新国立劇場との連携	4. 6. 5 (1公演)	演 出：桑原裕子 出 演：中村蒼、岡本玲、板橋駿谷 ほか	353
	夜の女たち *KAAT 神奈川芸術劇場との連携	4. 10. 14 ～16 (3公演)	演 出：長塚圭史 出 演：江口のり子、前田敦子 ほか	2, 179
	住所まちがい *りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館との連携	4. 10. 22 ～23 (3公演)	演 出：白井晃 出 演：仲村トオル、田中哲司、 渡辺いっけい、朝海ひかる	2, 162
	夏の砂の上 *世田谷パブリックシアターとの連携	4. 11. 26 ～27 (3公演)	演 出：栗山民也 出 演：田中圭、西田尚美、山田杏奈 ほか	2, 346
	蜘蛛巣城 *KAAT 神奈川芸術劇場との連携	5. 3. 18 ～19 (2公演)	演 出：赤堀雅秋 出 演：早乙女太一、倉科カナ ほか	1, 472
演劇・ミュージカル等 (幅広い層が楽しめる良質で多彩な演目)	加藤健一事務所 「サンシャイン・ボーイズ」	4. 5. 7 (1公演)	演 出：堤泰之 出 演：加藤健一、佐藤B作 ほか	730
	セールスマンの死	4. 5. 19 ～22 (5公演)	演 出：ショーン・ホームズ 出 演：段田安則、鈴木保奈美、 福士誠治、林遣都 ほか	3, 387
	黄昏	4. 6. 11 ～12 (2公演)	演 出：鶴山仁 出 演：高橋恵子、瀬奈じゅん、 松村雄基、石田圭祐 ほか	682
	恭しき娼婦	4. 6. 25 ～26 (3公演)	演 出：栗山民也 出 演：奈緒、風間俊介 ほか	1, 584
	二番街の囚人	4. 7. 2 (1公演)	演 出：シライケイタ 出 演：村田雄浩、保坂知寿、広岡由里子 ほか	481
	室温～夜の音楽～ [関西テレビ放送共催]	4. 7. 22 ～24 (4公演)	演 出：河原雅彦 出 演：古川雄輝、平野綾 ほか	2, 083
	NHK みんなのうたミュージカル 「リトル・ゾンビガール」	4. 9. 10 (1公演)	演 出：鈴木ひがし 出 演：高橋ひかる、石井杏奈 ほか	510
	野鴨	4. 9. 21 ～25 (7公演)	演 出：上村聡史 出 演：藤ヶ谷太輔、忍成修吾 ほか	5, 492
	裸足で散歩	4. 10. 1 ～2 (3公演)	演 出：元吉庸泰 出 演：加藤和樹、高田夏帆 ほか	1, 564

演 目		公演年月日	出演者等	入場者 (人)
演劇・ミュージカル等 (幅広い層が楽しめる良質で多彩な演目)	モチロンプロデュース 「阿修羅のごとく」 [読売テレビ/サンライズプロモーション 大阪共催]	4. 10. 8 ～10 (4公演)	演 出：木野花 出 演：小泉今日子、小林聡美 ほか	3, 395
	A NUMBER	4. 10. 29 (2公演)	演 出：上村聡史 出 演：戸次重幸、益岡徹 ほか	1, 419
	凍える [サンライズプロモーション大阪/パルコ 共催]	4. 11. 3 ～6 (5公演)	演 出：栗山民也 出 演：坂本昌行、長野里美、鈴木杏	3, 179
	管理人	4. 12. 3 ～4 (2公演)	演 出：小川絵梨子 出 演：イッセー尾形、木村達成、 入野自由	1, 268
	KERA・MAP #10 「しびれ雲」	4. 12. 8 ～11 (5公演)	演 出：ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出 演：井上芳雄、緒川たまき、 ともさかりえ ほか	3,024
	白石加代子「百物語」	5. 1. 12 (1公演)	演 出：鴨下信一 出 演：白石加代子	669
	二兎社公演46 歌わせたい男たち	5. 1. 14 (1公演)	演 出：永井愛 出 演：キムラ緑子、山中崇 ほか	784
ミュージカル	ミュージカル ネクスト トゥ ノーマル (東宝)	4. 4. 21 ～24 (7公演)	出 演：安蘭けい/望海風斗 (ダブルキャスト) ほか	5,276
	ミュージカル 四月は君の嘘 (東宝) [梅田芸術劇場共催] (KOBELCO 大ホール)	4. 6. 16 ～18 (4公演)	訳詞・演出：上田一豪 出 演：小関裕太／木村達成(ダブルキャスト)	7,677
	「DOROTHY～オズの魔法 使い～」 [関西テレビ放送/キョードー共催]	4. 9. 16 ～19 (6公演)	作・演出：田尾下哲 出 演：桜井玲香、蒼井翔太／鈴木勝吾 (ダブルキャスト) ほか	2,642
	ミュージカル キング・アーサー (ホリプロ) [梅田芸術劇場共催] (KOBELCO 大ホール)	5. 2. 24 ～26 (4公演)	日本版台本・演出：オ・ルビナ 出 演：浦井健治、伊礼彼方、加藤和樹 ほか	7,195

演 目		公演年月日	出演者等	入場者(人)
伝統芸能	春爛漫 茂山狂言会 みんなで楽しく狂言会 お豆腐狂言会	4. 4. 3 (2公演)	出 演：茂山千五郎 ほか	1,122
	Cutting Edge Kyogen 真夏の狂言大作戦 2022	4. 7. 9 (1公演)	出 演：茂山千五郎 ほか	755
	野村万作・萬斎狂言公演 ～狂言三代～	4. 11. 10 ～11 (2公演)	出 演：野村万作、野村萬斎、野村裕 基ほか	1,312
	淡路人形浄瑠璃特別公演	5. 1. 21 (1公演)	出 演：(公財)淡路人形協会、淡路人 形座	新型コロナウイルス 感染症の影響によ り中止
落 語 会	月亭方正独演会	4. 4. 10 (1公演)	出 演：月亭方正	751
	笑福亭鶴瓶落語会	4. 5. 5 (2公演)	出 演：笑福亭鶴瓶	1,546
	笑福亭松喬独演会	4. 6. 18 (1公演)	出 演：笑福亭松喬	619
	春風亭昇太独演会	4. 7. 18 (1公演)	出 演：春風亭昇太	703
	桂吉弥独演会	4. 8. 7 (1公演)	出 演：桂 吉弥	703
	上方次世代落語 好敵手の会	4. 9. 3 (1公演)	出 演：笑福亭鉄瓶、桂佐ん吉、 笑福亭べ瓶、桂吉の丞	576
	秋の特選落語競演会	4. 11. 12 (2公演)	出 演：桂ざこば、桂南光 桂米團治、柳家花緑 ほか	1,382
	柳家喬太郎独演会	4. 12. 17 (2公演)	出 演：柳家喬太郎	1,213
	桂文珍兵庫大独演会	5. 1. 7～9 (3公演)	出 演：桂文珍	1,861
	笑福亭鶴瓶落語会	5. 1. 28 ～29 (2公演)	出 演：笑福亭鶴瓶	1,545
舞 踊 ・ ダ ン ス	桂文枝の落語家 55 周年 記念独演会	5. 3. 5 (1公演)	出 演：桂文枝	796
	ピーピング・トム 「MOEDER／マザー」	5. 2. 12 (1公演)	出 演：ピーピング・トム	773
合 計		4 1 事業	1 0 6 公演	79,390

③ 舞台の楽しみを広げる音楽オリジナル『シリーズ企画』

地元出身で世界を舞台に幅広い活躍を続ける音楽家や、世界の音楽・ダンスを集めた「世界音楽図鑑」、「古楽の愉しみ」によるアーリーミュージック、ジャズなどシリーズ企画により、芸術文化センターならではの良質で親しみやすい幅広いジャンルの公演で音楽系ファンの裾野を広げた。

演 目		公演年月日	出演者等	入場者(人)
世界音楽図鑑	ドリーマーズ・サーカス～ 北欧デンマーク・アンデルセン 童話の調べ (阪急中ホール)	4. 6. 17 (1公演)	出 演:ドリーマーズ・サーカス	373
	タウトウメイタス ～ラトビアの民族音楽 (阪急中ホール)	4. 7. 3 (1公演)	出 演:タウトウメイタス(ラトビア)	771
	沖仁 フラメンコギター コンサート (阪急中ホール)	4. 8. 27 (1公演)	出 演:沖仁(フラメンコ・ギター) ほか	778
	カルデミンミット& アン・サリー 北欧のクリスマス支度 ～おやこで過ごす クリスマス ～おとなのクリスマス支度 (神戸女学院小ホール)	4. 12. 10 (2公演)	出 演:カルデミンミット(フィンランド) アン・サリー(ヴォーカル)	815
古楽の愉しみ	平崎真弓&ロレンツォ・ギエルミ(再掲) (神戸女学院小ホール)	4. 6. 5 (1公演)	出 演:平崎真弓 (バロック・ヴァイオリン) ロレンツォ・ギエルミ(チェンバロ)	417
	高田泰治 美しき古の音 (神戸女学院小ホール)	4. 9. 25 (1公演)	出 演:高田泰治 (チェンバロ&フォルテピアノ)ほか	410
	ロナルド・ブラウティハム (再掲) (神戸女学院小ホール)	4. 11. 26 (1公演)	出 演:ロナルド・ブラウティハム (フォルテピアノ)	346
	ジュスタン・テイラー チェンバロ・リサイタル (神戸女学院小ホール)	5. 1. 8 (1公演)	出 演:ジュスタン・テイラー (チェンバロ)	414
	レ・ヴォワ・ユメーヌ (ヴィオール・アンサン ブル) (神戸女学院小ホール)	5. 2. 11 (1公演)	出 演:レ・ヴォワ・ユメーヌ (ヴィオール・アンサンブル)ほか	415
	マリアン・コンソート(ア・カ ペラ) (神戸女学院小ホール)	5. 2. 23 (1公演)	出 演:マリアン・コンソート(ア・カペラ)	415
	川口成彦 フォルテピアノ・ リサイタル(再掲) (神戸女学院小ホール)	5. 3. 11 (1公演)	出 演:川口成彦(フォルテピアノ)	415

演 目		公演年月日	出演者等	入場者(人)
クリスマス・ジャズ・フェスティバル	渡辺貞夫オーケストラ “P E A C E” (KOBELCO 大ホール)	4. 12. 1 (1公演)	出 演：渡辺貞夫 (アルトサックス) ほか	1,904
	アトリエ澤野スペシャル トヌー・ナイソー・トリオ 清涼なるヨーロッパ アン・ジャズ (神戸女学院小ホール)	4. 12. 9 (1公演)	出 演：トヌー・ナイソー (ピアノ) ほか	409
	北村英治カルテット 至福のスウィング (神戸女学院小ホール)	4. 12. 14 (1公演)	出 演：北村英治 (クラリネット) ほか	410
	中川英二郎×エリック・ミヤシロ×本田雅人 Super Brass Stars feat. PAC オーケストラ (KOBELCO 大ホール)	4. 12. 17 (1公演)	出 演：中川英二郎 (トロンボーン)、 エリック・ミヤシロ (トランペット)、本田雅人 (サックス) 大井剛史 (指揮) 兵庫芸術文化センター管弦楽団	1,487
	ケイコ・リー ワン&オンリー のディーブ・ヴォイス (阪急中ホール)	4. 12. 20 (1公演)	出 演：ケイコ・リー (ヴォーカル) ほか	613
	アロージャズオーケストラ &東京キューバンボーイズ ジャズV S ラテン (KOBELCO 大ホール)	4. 12. 21 (1公演)	出 演：アロージャズオーケストラ、 見砂和照と東京キューバンボーイズ	2,020
コンサート	高田泰治美しき古の音 (チェバロ&フォルテピアノ) (再掲) (神戸女学院小ホール)	4. 9. 25 (1 公演)	出 演：高田泰治 (チェンバロ&フォルテピアノ) ほか	410
河村尚子シューベルトプロジェクト	河村尚子(シューベルト・プロジェクト第2回) (再掲) (神戸女学院小ホール)	4. 9. 19 (1 公演)	出 演：河村尚子(ピアノ)	415
子ども向けコンサート・バレエ	宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル(再掲) (KOBELCO 大ホール)	4. 5. 5 (1 公演)	出 演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ	909
	子どものためのバレエ 「ドン・キホーテの夢」 東京バレエ団 (阪急 中ホール)	4. 8. 11 (2公演)	出 演：東京バレエ団	1,500
合 計 21事業 23公演				15,646

(5) 舞台芸術の普及・県民の創造活動支援

① プロムナード・コンサート、ワンコイン・コンサート等

(ア) プロムナード・コンサート (KOBELCO 大ホール)

人気・実力を兼ね備えた国内演奏家を招き、親しみやすいプログラムによる低額入場 (2,000 円程度) 公演を開催し、広範囲な集客 (裾野の拡大) をめざした。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
シプリアン・カツァリス ピアノ・リサイタル (再掲)	4. 4. 23 (1公演)	出 演:シプリアン・カツァリス (ピアノ)	880
菊池洋子 ベートーヴェン 4大ソナタを弾く	4. 9. 11 (1公演)	出 演:菊池洋子(ピアノ)	1,721
金川真弓 ヴァイオリン・リサイタル	4. 10. 22 (1公演)	出 演:金川真弓(ヴァイオリン) ほか	1,157
アレクサンダー・コ布林 ピアノ・リサイタル	4. 11. 3 (1公演)	出 演:アレクサンダー・コ布林(ピアノ)	877
新イタリア合奏団&村治奏一 (再掲)	4. 11. 12 (1公演)	出 演:新イタリア合奏団&村治奏一 (ギター)	1,046
アン・セツ・シス ～2台ピアノが奏でるローマ の祭り	4. 11. 23 (1公演)	出 演:山中惇史、高橋優介 (ピアノデュオ)	1,485
前橋汀子&弦楽アンサンブル (再掲)	5. 1. 21 (1公演)	出 演:前橋汀子(ヴァイオリン)&弦楽 アンサンブル	1,477
フルートとハープ バレンタ イン♡コンサート カール＝ハインツ・シュッツ &吉野直子(再掲)	5. 2. 12 (1公演)	出 演: カール＝ハインツ・シュッツ(フルート) 吉野直子(ハープ)	1,336
合 計 8事業 8公演			9,979

(イ) ワンコイン・コンサート (入場料 500 円) (KOBELCO 大ホール)

県内外音楽コンクール受賞者など兵庫・関西ゆかりの新進気鋭の音楽家による 60 分のコンサートを平日の昼間に開催し、広範囲な集客 (裾野の拡大) をめざした。

出 演 者	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
坂東裕香 ～多彩な音色と情緒溢 れるホルン	4. 4. 12 (1公演)	大阪音楽大学卒業。2015 年に渡独、ザ・カレ ッジオペラハウス管弦楽団を経て神奈川フィ ルハーモニー管弦楽団首席ホルン奏者。	1,583
坂本 彩 ～聴かせて魅せる、心躍 るピアノ	4. 5. 21 (1公演)	明石市出身、在住。東京藝術大学卒業後、ベル リン芸術大学及び同大学院修了。第 21 回松方 ホール音楽賞、令和 2 年度坂井時忠音楽賞受 賞。東京藝術大学非常勤講師。	1,524
橋本 歩 ～ヴィオラと共にファ ンタジーの世界へ！	4. 6. 23 (1公演)	神奈川県出身。桐朋オーケストラ・アカデミー 修了。平成 25 年度優秀学生賞受賞。2018 年 9 月より兵庫芸術文化センター管弦楽団フォア シュピーラーとして活動中。	1,710

出 演 者	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
吉村結実 ～オーボエでめぐる世界旅行	4. 8. 10 (1公演)	大阪府出身。東京音楽大学、パリ地方音楽院卒業。日本音楽コンクール第1位受賞。兵庫芸術文化センター管弦樂團を経て、現在 NHK 交響樂團首席オーボエ奏者。	1,989
林 周雅 ～ヴァイオリン、挑戦の始まり	4. 9. 13 (1公演)	東大阪市出身。東京藝術大学卒業。スーパーキッズ・オーケストラにてコンサートマスターを務める。「題名のない音楽会」プロジェクト「題名プロ塾」にてプロデビュー。	1,989
中田 麦 ～マリンバで贈る、珠玉の名曲	4. 10. 14 (1公演)	2012 年度青山音楽賞新人賞受賞。第 28 回・31 回日本管打楽器コンクールマリンバ部門第2位入賞。	1,990
湯浅貴斗 ～幽玄なるバス・バリトンの誘い	4. 11. 11 (1公演)	奈良県出身。大阪音楽大学卒業、同大学院声楽研究室オペラ系修了。新国立劇場オペラ研修所第22期生在籍中。	1,819
サイモン・ポレジャエフ ～コントラバスで奏でる多彩な音楽	4. 12. 2 (1公演)	モスクワ生まれ、ニューヨーク育ち。ジュリアード音楽院大学院修士課程修了。同年、兵庫芸術文化センター管弦樂團入団。現在、大阪フィルハーモニー交響樂團トップ奏者。	1,627
水野智絵 ～響き渡るソプラノ、歌の宝石箱	5. 2. 10 (1公演)	堺市出身。大阪音楽大学音楽専攻科修了。オペラでは「ちゃんちき」おとっさまの化けた美人役等出演。LesFleurs(花の会)メンバー。堺シテリオペラアーティスト会員。	1,652
水谷友彦 ～中東欧の風薫るピアノ、バルトークへの誘い	5. 3. 17 (1公演)	神戸市出身。大阪音楽大学演奏家特別コース首席卒業、同大学院修士課程修了。ハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽大学で研鑽を積む。第27回宝塚ベガ音楽コンクール2位。	1,771
合 計		10事業 10公演	17,654

<音楽事業アドバイザー会議>

センターの主催する音楽事業の中で、兵庫・関西ゆかりの若手アーティスト・人材を登用する普及事業（ワンコイン・コンサート等）の出演者候補について発掘・審議するため、音楽事業アドバイザー会議を開催

（アドバイザー） 中村孝義（大阪音楽大学理事長）、響敏也（音楽評論家）、
藤本賢市（神戸新聞社）、青木さやか（読売新聞大阪本社文化部記者）

（ウ） ワンコイン・コンサート NO.1 アーティスト アンコール・リサイタル

2021 年の出演アーティストの中から選出（神戸女学院小ホール）

演 目	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
吉本梨乃 ヴァイオリン・リサイタル	5. 3. 8 (1公演)	吉本梨乃（ヴァイオリン）、林典子（ピアノ）	413
合 計		1事業 1公演	413

(エ) ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート

次年度ワンコイン・コンサート出演者と新年を祝うコンサート (KOBELCO 大ホール)

演 目	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
2023 年度ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート	5. 1. 3 (1公演)	岸本萌乃加 (ヴァイオリン)、杉田恵理 (ヴィオラ)、鳥居侑平 (和太鼓)、中谷彩花 (ピアノ)、西馬健史 (トランペット)、益田早織 (メゾ・ソプラノ)、皆川隼人 (チェロ)、安井悠陽 (ファゴット)	1,736
合 計 1 事業 1 公演			1,736

(オ) ワンコイン・プレ・レクチャー(阪急 中ホール)

芸術監督プロデュースオペラをより楽しんでいただくため、オペラ歌手によるハイライトコンサートを開催。また、専門家、演奏家等のレクチャー・トークを実施し、広範囲な集客（裾野の拡大）をめざした。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
「ラ・ボエーム」 ハイライトコンサート ～ええとこどり！	4. 4. 13 ～14 (2公演)	出 演：森井美貴、四方典子、 島影聖人、梶貴志、伊原敏行 構成・ステージング：河原義	1,493
	4. 4. 17 4. 23 4. 24 5. 8 5. 14 5. 15 (6公演)	洲本市文化体育館 文化ホール 三田市郷の音ホール (小) 市川町文化センターひまわりホール 丹波篠山市立田園交響ホール 福崎町エルデホール 西脇市立音楽ホールアピカホール	(1,402)
「ラ・ボエーム」 ワンコイン・プレ・レクチャー (阪急中ホール)	4. 6. 2 (2公演)	講 師：中村敬一 (演出家) 出 演：砂川涼子、掛川歩美	1,493
合 計 2 事業 4 公演 6 公演 (県内公演)			2,986 県内(1,402)

(カ) ドリーム・コンチェルト (KOBELCO 大ホール)

ワンコイン・コンサート出演者と芸術文化センター管弦楽団によるスペシャル・コンサートを開催した。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
ドリーム・コンチェルト *冠協賛：西宮ロータリークラブ H24 年から 11 回目 協賛継続	4. 4. 9 (1公演)	指 揮：栗辻聡 出 演：佛田明希子 (オーボエ)、斉戸 英美子 (ソプラノ)、小林壺成 (ヴァイオリン) 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団	1,409
合 計 1 事業 1 公演			1,409

(キ) 舞台芸術団体フェスティバル(共催)(県域団体)

演 目		公演年月日	主催団体	入場者 (人)
KOBELCO大ホール	2022 年度兵庫県合唱 コンクール小学校・中 学校・高等学校の部	4. 8. 20 (1公演)	兵庫県合唱連盟	2,644
	ふれあい文化の祭典 「ひょうごブラスフ ェスティバル 2022」	4. 9. 19 (1公演)	兵庫県吹奏楽連盟	台風接近の影響に より中止
	兵庫県音楽活動推進 会議設立 30 周年記念 コンサート	4. 9. 25 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議	1,084
阪急中ホール	劇場へ行こう 第5 弾! 「ヴェニスの商 人」	4. 8. 21 (1公演)	兵庫県劇団協議会、劇団自由人会	新型コロナウイルス 感染症の影響に より中止
	ふれあい文化の祭典 「ひょうご邦楽の祭 典」	4. 8. 28 (1公演)	兵庫県箏絃連盟	235
	吟詠フェスティバル	4. 9. 4 (1公演)	兵庫県吟詠連盟	565
神戸女学院小ホール	第 44 回阪神ジュニア 音楽コンクール	4. 8. 21 (1公演)	阪神南文化振興団体連絡協議会/尼崎市 文化団体協議会	443
	ふれあい文化の祭典 ひょうご演劇祭 「芝浜の革財布」	4. 8. 27 (1公演)	兵庫県劇団協議会	170
	エンターテインメント のおもちゃ箱	4. 9. 3 (1公演)	兵庫県劇団協議会/G・E-JAPAN	179
	神戸クラシック協会 設立 35 周年記念コン サート	4. 9. 11 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議/神戸クラシ ック協会	318
	ふれあい文化の祭典 アンサンブルフェス ティバル in ひょうご	4. 9. 18 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議	250
	ルネサンス・バロック 音楽とコートダンス のひととき	4. 9. 23 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議/安藝榮子と仲 間たちチャリティコンサート	246
合 計 10 事業 10 公演				6,134

② ピッコロ劇団公演（共催）（阪急 中ホール）

演 目	公演年月日	出演者等	入場者 (人)
ファミリー劇場 「飛んで 孫悟空」	4. 12. 24 ～25 (3公演)	作 : 別役実 演 出 : 平井久美子 出 演 : ピッコロ劇団員 ほか	846
兵庫県立ピッコロ劇団 第75回公演 ピッコロシ アタープロデュース 「三文オペラ」	5. 2. 17 ～19 (5公演)	作 : ベルトルト・ブレヒト 台本・演出 : 松本 修 (MODE) 出 演 : ピッコロ劇団員 ほか	1, 556
合 計 2事業 8公演			2,402

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

兵庫県立芸術文化センター専属のプロオーケストラとして、毎年世界各地でオーディションを実施し、優秀な若手演奏家を中心に構成する兵庫ならではのユニークな『フレッシュでインターナショナル』なオーケストラ。また、兵庫から世界に人材を育て発信する『オーケストラアカデミー』の要素も有する「兵庫芸術文化センター管弦楽団」では、①定期演奏会の開催、プロデュースオペラ公演への出演をはじめ、②室内楽演奏会や③県内各地でのアウトリーチ活動など、「パブリックシアター」にふさわしい多彩な活動を展開した。（県内41市町一巡達成 H26.4月）

- ・芸術監督：佐渡裕
- ・レジデント・コンダクター：岩村力
- ・コンサートマスター：四方恭子、田野倉雅秋、豊嶋泰嗣
- ・ミュージック・アドバイザー：水島愛子
- ・基本編成：14パート48人（10型2管編成、35歳以下、3年契約、全国・世界各地でのオーディションで選抜）

※新型コロナの影響で2021～22シーズンオーディション中止

楽団員（コアメンバー）在籍1年間延期及び2020～21シーズンオーディション合格者新入団の1年間延期

2022～23 シーズンオーディション

- ・世界の優れた若手演奏家の確保
- ・毎年概ね1/3程度交代ローテーションへの円滑な移行

【募集人員】ヴァイオリン等11パート19人

【募集期間】2022年10月～2023年1月

【実技審査】2月～3月 アメリカ（フィラデルフィア）・ヨーロッパ（ミュンヘン）・西宮・東京

【総合審査】3月 ウィーン（佐渡裕芸術監督）

＜コアメンバー 令和5年4月時点の状況＞

1年目：15人、2年目：12人、4年目：10人 14パート37人、国籍：10カ国、平均年齢：28.0歳

＊新メンバー契約期間：R5.9～R8.8

（1）演奏会活動 16事業34公演（センター事業：6事業14公演（再掲）を除く）

フレッシュでインターナショナルなオーケストラの魅力ある演奏会を実施。

① 定期演奏会（KOBELCO 大ホール）

佐渡裕芸術監督をはじめ、世界一流の客演指揮者やソリストを招聘し、古典から現代曲までの魅力あるレパートリーを、大小さまざまな編成で演奏し、質の高い芸術性を追求した。

＊舞台芸術創造活動活性化事業助成（令和4年度公演）

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
【2021-2022 シーズン】 第132回 プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第1番	4. 4. 15 ～17 (3公演)	指 揮：井上道義 ヴァイオリン：服部百音	4,271
第133回 コプランド：クラリネット協奏曲	4. 5. 13 ～15 (3公演)	指 揮：佐渡 裕 クラリネット：ラスロ・クティ（元コアメンバー） ドラム：則竹裕之 ピアノ：高木竜馬	5,241
第134回 ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第2番	4. 6. 10 ～12 (3公演)	指 揮：下野竜也 ピアノ：石井楓子	4,243
【2022-2023 シーズン】 第135回 ブルックナー：交響曲第6番	4. 9. 16 ～18 (3公演)	指 揮：佐渡 裕	4,735

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
第 136 回 ハチャトゥリアン：ヴァイオリン協奏曲	4. 10. 7 ～9 (3公演)	指 揮：クリスティアン・アルミンク ヴァイオリン：木嶋真優	4,964
第 137 回 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第 3 番	4. 11. 18 ～20 (3公演)	指 揮：カーチュン・ウォン ピアノ：三浦謙司	4,996
第 138 回 マーラー：交響曲第 7 番	5. 1. 13 ～15 (3公演)	指 揮：佐渡 裕	5,708
第 139 回 ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第 3 番	5. 2. 17 ～19 (3公演)	指 揮：ユベール・スダーン ピアノ：児玉麻里	5,011
第 140 回 ドヴォルザーク：チェロ協奏曲	5. 3. 24 ～26 (3公演)	指 揮：準・メルクル チェロ：カミーユ・トマ	5,079
第 141 回 エルガー：ヴァイオリン協奏曲	5. 5. 26 ～28 (3公演)	指 揮：下野竜也 ヴァイオリン：三浦文彰	—
第 142 回 ストラヴィンスキー：バレエ音楽 「火の鳥」(1919 年原典版)	5. 6. 16 ～18 (3公演)	指 揮：井上道義 舞 踊：森山開次、本島美和ほか	—
第 143 回 ヒンデミット：室内音楽第 5 番	5. 8. 4 ～6 (3公演)	指 揮：佐渡 裕 ヴァイオリン：谷口朱佳	—
合 計	9 事業	27 公演 (令和 4 年度)	44,248

*2021-2022 シーズン定期会員数 2,732 (金曜 899, 土曜 975, 日曜 858)

② 特別演奏会 (KOBELCO 大ホール等)

名曲コンサートなど親しみやすい公演により幅広い観客ニーズに応え、クラシックファン層を拡大。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
PAC 春休みワクワク オーケストラ・コンサート	4. 4. 2 (1公演)	指 揮：岩村 力 ピアノ：古海行子 お 話：庄司 笹	1,227
リサイタルシリーズ (神戸女学院小ホール)	4. 6. 16 (1公演)	フルート：フランチェスカ・ブルーノ バスーン：トミー・リウ	393
合 計	2 事業	2 公演	1,620

③ 室内楽シリーズ（神戸女学院小ホール）

バロックから現代曲まで、さまざまなレパートリーを多様な編成で演奏し、室内楽の魅力を伝える。芸術文化センター管弦楽団コアメンバーと特別契約奏者との組み合わせにより、幅広い編成で高度な公演を実現している。

演 目		公演年月日	出演者等	入場者(人)
室内楽シリーズ	第70回 PAC BRASS !	4. 4. 23 (1公演)	トランペット：オッタビアーノ・クリストーフォリ (元コアメンバー)	310
	第71回 PAC WINDS !	4. 5. 7 (1公演)	クラリネット：ラスロ・クティ (元コアメンバー)	391
	第72回 PAC PERCUSSION !	4. 6. 25 (1公演)	パーカッション：菅原 淳	394
	第73回 PAC STRINGS !	4. 8. 6 (1公演)	ヴァイオリン：日下紗矢子	393
	第74回 PAC STRINGS !	5. 3. 18 (1公演)	ヴァイオリン：イ・ジヘ	350
合 計 5事業 5公演				1,838

④ センター事業への出演 6事業14公演（再掲）

佐渡芸術監督のプロデュースするオペラ・コンサート公演等で演奏。

（2）体験教育・普及活動

① 青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」の実施 40公演 [KOBELCO大ホール]

兵庫県内の中学1年生（約4.5万人全員）を対象に、本格的な交響楽団の演奏に親しむ機会を設けることにより、これからの社会を担う生徒の豊かな感性、創造力を育むとともに、音楽教育（体験教育）の振興を図った。

*新型コロナウイルスのため遠方からの来場が困難な但馬地域の学校を対象に、令和4年度のみ同地域のホール（やぶ市民交流広場）で実施

【企 画】佐渡裕芸術監督 【指 揮】岩村力 ほか

【内 容】第1部 参加・体験コーナー：ホールの紹介、楽器紹介
第2部 鑑賞コーナー：楽曲の紹介、演奏会

【公演時間】約1時間（70分）

【時 期】令和4年5月25日（水）～令和5年1月26日（木）

【実 績】367校 45,188人（引率教員等含む）

② アウトリーチ活動

芸術文化センターからの遠隔地域や日頃音楽に触れる機会の少ない方々に音楽の魅力・感動を伝え、音楽の普及と楽団のPRを図るため、アウトリーチ活動を展開し、活動先については公募制度も導入・実施（医療機関、福祉施設、小中高等学校、参画と協働を実践する地域活動への参加等）

*平成29年度～小学校・特別支援学校を対象としたアウトリーチ（公募により募集）を重点実施

*令和3年度～中学・高校吹奏楽部を対象に遠方でも可能なリモートレッスンにより演奏等を指導

【実績】3回

- ・養父市吹奏楽クリニック＊佐渡芸術監督 9月 9日
- ・PAC シーズン・オープニング・フェスティバルアウトリーチ（養父市 2会場） 9月 9日
- ・おおやビッグラボ、関ノ宮ノビアホール

小学校・特別支援学校等アウトリーチ

【実績】19校17回

- ・朝来市立大蔵小学校 6月21日
- ・朝来市立東河小学校 6月21日
- ・香美町立佐津小学校、香美町立奥佐津小学校、香美町立余部小学校 6月22日
- ・香美町立香住小学校 6月22日
- ・養父市立八鹿小学校 養父市立高柳小学校 6月23日
- ・養父市立養父小学校、養父市立建屋小学校 6月23日
- ・豊岡市立静修小学校 6月24日
- ・豊岡市立八代小学校 6月24日
- ・宝塚市立長尾南小学校（2回） 3月14日
- ・加東市立福田小学校 3月14日
- ・市川町立鶴居小学校 3月14日
- ・川西市立牧の台小学校（2回） 3月15日
- ・県立東はりま特別支援学校 3月16日
- ・宝塚市立逆瀬台小学校 3月17日
- ・県立阪神特別支援学校 3月17日

青少年リモートレッスン人材育成事業

【実績】4校12回

- ・神戸市立鷗台中学校 6月13日、6月14日
- ・姫路市立大津中学校 7月8日、7月20日、7月22日、7月29日
- ・神戸市立横尾中学校 7月23日、8月1日
- ・新温泉町立浜坂中学校 7月5日、7月6日、7月29日、8月23日

③ スーパーキッズ・オーケストラ事業

オーディションによって選ばれた子どもたち（小学生から高校生まで）が佐渡芸術監督指揮のもとに演奏活動を行った。

（ア）復興祈念被災地訪問活動

- ・東日本大震災復興祈念演奏活動

「こころのビタミンプロジェクト in 東北」2022（岩手県7会場、宮城県1会場）

＊指揮：佐渡芸術監督、＊サントリー「東北サンさんプロジェクト」

【日程】7月29日（金）～8月1日（火）

【スケジュール】7月29日（金） 東日本大震災津波伝承館（岩手県陸前高田市）

陸前高田市民文化会館

7月30日（土） 釜石市民ホール ホールA

宝来館 松の根亭（岩手県釜石市）

宮古市民文化会館

7月31日（日） 吉祥寺（岩手県大槌町）

岩泉町民会館

8月 1日（月） 電力ホール（宮城県仙台市）

（イ）演奏会「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ2022」（KOBELCO 大ホール）

【日程】9月3日（土）、4日（日） 2公演 入場者数 3,713人

(ウ) その他の活動

- ・Autumn Festival in KOBE
【日程・場所】 9月23日 旧居留地メインステージ
- ・サンシティタワー神戸
【日程・場所】 9月25日 サンシティタワー神戸
- ・ル・ポン国際音楽祭 ほのぼのコンサート・プリコンサート
【日程・場所】 10月2日 赤穂市民病院アメニティーホール
赤穂化成ハーモニーホール 小ホール
- ・第41回全国豊かな海づくり大会
【日程・場所】 11月13日 明石市民会館
- ・にしきたクリスマス
【日程・場所】 12月4日 芸術文化センターエントランス
- ・洲本アウトリーチ
【日程・場所】 12月10日 コモード56、S BRICK
- ・サンシティパレス塚口
【日程・場所】 1月 8日 サンシティパレス塚口
- ・神戸国際 taiko 音楽祭
【日程・場所】 1月15日 神戸国際会館
- ・スーパーキッズ・オーケストラ 明石公演
【日程・場所】 2月 5日 明石市立西部市民会館
- ・スーパーキッズ・オーケストラ 加古川公演
【日程・場所】 2月26日 加古川市民会館中ホール
- ・国際ソロプチミスト伊丹認証40周年記念コンサート
【日程・場所】 3月18日 いたみホール大ホール
- ・中山KLCコンサート
【日程・場所】 3月24日 松方ホール
- ・羽曳野ロータリークラブ創立50周年記念
【日程・場所】 3月26日 LICはびきの

(3) 多彩な演奏活動

楽団の魅力を広く県内・全国へPR（県内外からの依頼公演等）

① 県内外ホールと連携した演奏活動

- (ア) 佐渡裕芸術監督指揮によるシーズン・オープニング・フェスティバルと同演目によるコンサート
神戸市（松方ホール） 9月19日（月・祝）
丹波篠山市（たんば田園交響ホール） 9月21日（水）
明石市（明石市民会館） 9月22日（木）

② 幅広いニーズに対応した演奏活動

- (ア) 福山国際音楽祭（ふくやま芸術文化ホール） 5月21日（土）～22日（日）
- (イ) ASKA Premium Symphonic Concert 8月11日（祝・木）
- (ウ) 須磨学園（神戸国際会館） 10月26日（水）
- (エ) ひょうごプレミアム芸術デー（再掲） 11月 9日（水）
- (オ) 武庫川コンチェルト（武庫川女子大学甲子園会館） 11月13日（日）
- (カ) 1万人の第九（大阪城ホール） 12月 4日（日）
- (キ) オーケストラ・キャバソン ニューイヤーコンサート IN 久留米 *外部公演 1月 7日（土）

③ 県議会議場コンサート

2月13日（月）

(4) コアメンバー演奏力の強化

① PACシーズンオープニング・フェスティバル（ミュージックキャンプ）

若手育成という当楽団の性格から、そのミッションの一つであるアカデミー機能のより一層の強化、充実を目的に、シーズン・スケジュールの初め（9月）に国内外より著名な指導者陣（スペシャル・ゲスト・プレイヤー）を招き、オーケストラのレベルアップに不可欠なアンサンブル力の強化を図った（ミュージックキャンプ）。

また、芸術文化センターだけでなく、県内市町の文化施設においても開催（共同主催）することで、地域における音楽文化の発展に寄与した（フェスティバル）。

【時 期】 9月6日（火）～10日（土）5日間

＊その直後の佐渡監督指揮第135回定期演奏会(9/16～9/18)に成果を繋げる

【会 場】 やぶ市民交流広場、芸術文化センター

【内 容】 ①室内楽プログラム（スペシャル・ゲスト・プレイヤーのリーダーシップ）
②オーケストラプログラム（指揮：佐渡芸術監督）
③アウトリーチコンサート
④リハーサル公開、マスタークラス 等

【スケジュール】 9月6日（火）～7日（水）結団式、シーティングオーディション等実施（芸術文化センター）
9月8日（木）～10日（土）オーケストラ練習、室内楽公演、リハーサル、マスタークラス、公開リハ、アウトリーチ等実施（養父市）等 計1事業1公演

【出 演】 佐渡裕（指揮・芸術監督）

兵庫芸術文化センター管弦楽団（コアメンバー）

スペシャル・ゲスト・プレイヤー（予定）

- ・ 田野倉雅秋（Vn PAC コンマス）
- ・ ヤカ・シュタットラー（Vc バイエルン放響）
- ・ ウルリッヒ・ウォルフ（Cb 元ベルリン・フィル）
- ・ クリストフ・ハルトマン（Ob バイエルン・フィル）
- ・ ハネス・ロイビン（Tp バイエルン放響ソロ首席）
- ・ ミヒャエル・ヴラダー（Timp ウィーン響首席）

（開催地）平成25年洲本市⇒平成26年豊岡市⇒平成27年洲本市⇒平成28年篠山市⇒平成29年赤穂市⇒平成30年篠山市
⇒令和元年明石市⇒令和2年洲本市（中止）⇒令和3年養父市（合宿・無観客配信実施）⇒令和4年養父市

② 世界トップ級の奏者を、ソリスト、客演コンマス、パートトップとして招聘（特別契約演奏者）し、当楽団との共演、指導（マスタークラス）により、コアメンバーが世界一流の演奏技術などを体感できる機会を設ける。

アントン・バラコフスキー（Vn）、ステファノ・ヴァニヤレツリ（Vn）、ペーター・ヴェヒター（Vn）、ヤカ・シュタットラー（Vc）、レリア・ルキッチ（Vc）、ウルリッヒ・ウォルフ（Cb）、ハインリッヒ・ブラウン（Cb）、クリストフ・ハルトマン（Ob）、ハネス・ロイビン（Tp）、ハンス・イェルク・プロファンター（Tb）、ミヒャエル・ヴラダー（Timp）ほか

＜ホール別の主催事業数・公演数＞

区 分	芸術文化センター事業		芸術文化センター管弦楽団事業		主催事業 計
	主催事業	舞台芸術団体 フェスティバル 等	演奏活動	青少年芸術体験事業	
KOBELCO 大ホール	43 事業 57 公演	2 事業 2 公演	11 事業 30 公演	1 事業 40 公演	57 事業 129 公演
阪急 中ホール	50 事業 114 公演	4 事業 10 公演	—	—	54 事業 124 公演
神戸女学院 小ホール	27 事業 28 公演	6 事業 6 公演	6 事業 6 公演	—	39 事業 40 公演
小計	120 事業 199 公演	12 事業 18 公演	17 事業 36 公演	1 事業 40 公演	150 事業 293 公演
外部公演	1 事業 7 公演	—	2 事業 2 公演	—	3 事業 9 公演
楽団外部依頼公演	—	—	10 事業 11 公演	—	10 事業 11 公演
計	121 事業 206 公演	12 事業 18 公演	29 事業 49 公演	1 事業 40 公演	163 事業 313 公演
【基準】	【36 事業 58 公演】		【48 公演】	【40 公演】	【146 公演】

〔注１〕 上記のほか普及事業開催：広報普及イベント（公開リハーサル、レクチャー・トーク、ワークショップ、バックステージツアー、企画展示、西北活性化協議会イベント等）、楽団アウトリーチ活動等

3 芸術文化センター広報・普及活動

(1) 広報活動

① 多面的な広報宣伝活動

芸文センターの認知度向上、新たなファンの発掘・裾野拡大、公演入場券の販売促進を積極的に展開した。

(ア) 記者発表等の実施

テレビや新聞、雑誌、Web ニュースなどのメディアの取材を誘致するために、記者会見、取材会、プレスリリースなどを実施した。

(イ) 紙面広報

発売日前等に新聞や雑誌などに紙面広告を掲出した。

(ウ) 交通広告（車内・駅にポスター・映像(デジタルサイネージ)を掲出）

楽団定期演奏会(通し券)を広く周知するため、地元を中心に交通広告を実施した。

(参考) 芸文センター関連のメディア露出

確認数：1,803 件 (TV73 件、ラジオ8 件、Web1,567 件、新聞144 件、タブロイド紙4 件、雑誌41 件、動画3 件)

主な関連記事	主な掲載メディア
プロデュースオペラ 2022「ラ・ボエーム」	NHK 神戸放送局、朝日新聞、朝日ファミリー、音楽の友、神戸新聞、産経新聞、毎日新聞、毎日放送、読売新聞、ラジオ関西 等 42 件
プロデュースオペラ 2023「ドン・ジョヴァンニ」	神戸新聞、日経新聞、時事通信、愛媛新聞、デイリースポーツ、Aasahi Family、Webニュース 等 33 件
兵庫芸術文化センター管弦楽団	神戸新聞、朝日ファミリー、音楽の友、山陽新聞、Webニュース 等 54 件
スーパーキッズ・オーケストラ	神戸新聞、サンTV(YouTube)、Webニュース 等 21 件
「1 万人の第九」	毎日新聞、MBS(YouTube)、Web ニュース 等 61 件
ひょうごプレミアム芸術デー	神戸新聞、産経新聞、関西音楽新聞、Webニュース 等 8 件
ミュージカル「SPY×FAMILY」	神戸新聞、読売新聞、中日新聞、北國新聞、徳島新聞、佐賀新聞、福井新聞、Webニュース 等 195 件
ミュージカル「キングアーサー」	朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、Webニュース 等 58 件
「笑の大学」	毎日新聞、読売新聞、産経新聞、Webニュース 等 43 件
「阿修羅のごとく」	神戸新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、Webニュース 等 40 件
「しびれ雲」	読売新聞、日経新聞、Webニュース 等 31 件
「裸足で散歩」	読売新聞、朝日新聞、産経新聞、Webニュース 等 28 件
『DOROTHY(ドロシー)～オズの魔法使い～』	朝日新聞、Web ニュース 等 21件
朗読劇『アネト』	神戸新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日経新聞、Webニュース 等 21 件
舞台「A・NUMBER」	朝日新聞、Web ニュース 等 20 件
「ジルヴェスター・ガラ・コンサート」	朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、日経新聞、Webニュース 等 10 件

② 自主媒体による展開

(ア) 情報誌「ひょうご舞台芸術」の発行 【年2回／各6万部】

実施した主催公演を特集した情報誌を半年ごとに発行。先行予約会員ほか、各公共施設等に配布し、芸文センターの舞台芸術を紹介した。

(イ) 会報誌の発行 【発売日に合わせ月1回(8月除く)/各月約4～6万部】

先行予約発売のための「月間発売一覧」を発行。公演チラシとともに先行予約会員に送付した。

(ウ) 「公演スケジュール」の発行 【月1回／6,000部】

主催・貸館公演の月間スケジュール「公演スケジュール」を毎月発行し、記者や県内施設等に配布して、芸文センターの公演情報を広く周知した。

(エ) 芸文センターWebサイトの運営

施設概要・公演情報・入場券発売・楽団情報・ニュース&トピックス等掲載した。

※ニュース&トピックス発信数 R4年度 129件

◆芸文センター公式ホームページ (Googleアナリティクス解析)

※R4年度：アクセス数(セッション)760,274、閲覧数(ページビュー)1,174,912、ユーザー数381,189

(オ) 特設Webサイトの開設

- ・プロデュースオペラ特設サイト

作品・キャスト等の紹介、最新のニュース等を掲載した。

◆「ラ・ボエーム」(R4.1開設)

◆「ドン・ジョヴァンニ」(R5.1開設)

- ・楽団特設サイト (H19.2開設)

楽団・メンバーの募集・紹介、活動等紹介、最新のニュース等を掲載した。

(カ) メールマガジンによる情報発信【R4年度11回発行(257号～267号)】

チケット発売情報、新型コロナウイルスに係る情報等を月1・2回のペースで配信した。※登録者数34,910人

(キ) SNSの活用

各アカウントで告知情報や公演情報などをタイムリーに配信した。

アカウント	Twitter	Facebook	Instagram
兵庫県立芸術文化センター	フォロワー：5,848人 ツイート数：2,426(延べ) (H28.12開設)	—	—
兵庫芸術文化センター 管弦楽団(PAC)公式	フォロワー：2,607人 ツイート数：620(延べ) (R2.5開設)	フォロワー：927人 (R2.5開設)	フォロワー：904人 投稿：253(延べ) (R2.5開設)
兵庫芸文センター プロデュースオペラ公式	フォロワー：1,596人 ツイート数：1,258(延べ) (H29.1開設)	—	フォロワー：1,106人 投稿：172(延べ) (R1.12開設)

(ク) 動画の配信(YouTube)

◆芸文センター公式アカウント (H27.2開設)

プロデュースオペラや公演情報等を動画配信した。

※チャンネル登録654人、延べ52本配信、延べ261,196回再生

◆「HYOGO Performing Arts Center ORCHESTRA」楽団公式アカウント (H25.9開設)

佐渡芸術監督の企画等による楽団演奏を動画配信した。

※チャンネル登録4,270人、延べ106本配信、延べ886,128回再生

③ 芸術文化センター先行予約会員制度（無料会員）

- 【特 典】チケット先行発売（価格割引なし）インターネット購入
会報誌（先行予約会員 NEWS）・公演チラシの送付
【会員数】66,008 人（令和 5 年 3 月 31 日現在）

④ チケット販売体制

（ア）チケットオフィスの運営

インターネット申し込みが困難な方への対応として、発売日にスタッフ 40 名、電話 35 台という全国で例のない充実したチケット販売体制をとるとともに、窓口案内／チケットカウンターに 5 つの窓口を設け、チケット窓口引き取りの混雑緩和に対応した。

（イ）新型コロナウイルス感染症拡大予防対策

チケットオフィスの 3 密を回避するため、2 部屋に分散して実施し、総合案内・チケットカウンターには飛沫対策のためのパーテーションを設置した。また、来場者把握のため、先行予約会員に限定して販売を行った。

（2） 主催事業と連動した普及事業等

主催事業の制作過程や事業内容を観客にわかりやすく理解を深め楽しめるものとするため、楽団の公開リハーサルや芸術監督プロデュースオペラのワークショップなどを実施

① 公開リハーサル

（ア） 佐渡芸術監督プロデュースオペラ

「ラ・ボエーム」公開リハーサル（KOBELCO 大ホール）

【日 程】令和 4 年 7 月 12 日（火）、13 日（水）

（イ） 楽団「定期演奏会」公開リハーサル（KOBELCO 大ホール）

定期会員を対象に「定期演奏会」の公開リハーサルを実施 [各 1 回、計 9 回]

② ワークショップ

（ア）オペラ創造ワークショップ「オペラ“ラ・ボエーム”の制作アトリエ」

（KOBELCO 大ホール）

【日 程】令和 4 年 7 月 14 日（木）

【登壇者】佐渡裕（指揮・芸術監督） ほか

（イ）「宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル」

（KOBELCO ホール）影アナウンス体験&わくわくコーナー（楽器を弾いてみよう）

【日 程】令和 4 年 5 月 5 日（木・祝）

【内 容】影アナ体験、楽器体験

（ウ）世界音楽図鑑「ドリーマーズ・サーカス 北欧デンマーク・アンデルセン童話の調べ」

（研修室）「紙版画でアンデルセンの世界を描こう」

【日 程】令和 4 年 6 月 4 日（土）

【内 容】本公演のイラストを制作した木版画家・山福朱実による紙版画ワークショップ

（エ）子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」東京バレエ団

（KOBELCO 大ホール舞台上）子どものための「はじめてのバレエ・レッスン」

【日 程】令和 4 年 6 月 26 日（日）

【内 容】東京バレエ団出身ダンサーによるバレエレッスン

（オ）100 年の詩物語 朗読劇「アネト～姉と弟の八十年間の手紙～」

（リハーサル室 1）土田英生ワークショップ「台詞を書いてみよう」

【日 程】令和 4 年 10 月 16 日（日）

- 【内 容】作・演出の土田英生さんによる脚本ワークショップ
 (カ) ピーピング・トム「MOEDER／マザー」
 (リハーサル室1) ピーピング・トムのメンバーによるワークショップ
 【日 程】令和5年2月10日(金)
 【内 容】ピーピング・トムのメンバーによるワークショップ

③ バックステージツアー

一般の方を対象に、普段、目にすることのできない劇場の舞台裏や舞台機構、公演準備作業の様子などを案内する見学会を開催

内 容		開催日	入場者 (人)
兵庫県立芸術文化センターのなるほどバックステージツアー2022			
第1回	なるほど「KOBELCO 大ホール」編	4. 5. 20 (2回)	122
第2回	夏休みの「わくわく探検隊ツアー」	4. 8. 4 (2回)	156
第3回	なるほど「PAC オーケストラ」編	4. 9. 28 ～9. 29 (2回)	91
第4回	なるほど「阪急中ホール」編	4. 11. 29 (2回)	93
第5回	なるほど「建物と仕事人」編	4. 12. 7 (2回)	51
第6回	なるほど「神戸女学院小ホール」編	5. 1. 11 (1回)	45
合 計 6事業 11回			558

④ 企画展示（共通ロビー情報コーナー「ポッケ」）

(ア) 薄井憲二バレエ・コレクション企画展示（年2回）

故薄井憲二氏（舞踊家、日本バレエ協会元会長）の貴重なバレエ・コレクションを活用し、その全貌を紹介することでバレエの歴史を概観する。

(イ) 主催事業関連企画展示

自主企画公演等と連動した展示を行い事業の効果的なPRを図る。

【時 期】令和4年7月（プロデュースオペラ「ラ・ボエーム」）ほか

内 容		開催日
薄井憲二バレエ・コレクション企画展示	セルゲイ・ディアギレフ生誕150周年～偉大なる「バレエ・リュス」団長	4. 7. 26 ～ 8. 28
	人形たちの饗宴Ⅱ～人形を動かす魔法とは？～	5. 1. 17 ～ 3. 5
主催事業関連企画展示	楽団定期演奏会通し券発売情報&PAC紹介	4. 4. 5 ～ 5. 29
	佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ 歌劇「ラ・ボエーム」	4. 5. 31 ～ 7. 24

主催事業関連企画展示	PAC2022 年新シーズンラインナップ 新メンバー紹介	4. 8. 30 ～ 10. 10
	阪急中ホールおすすめ公演紹介（演劇・能・狂言・落語等）	4. 10. 12 ～ 11. 27
	年末年始・音楽公演特集	4. 11. 29 ～ 5. 1. 15
	2023 年度 芸術文化センター公演ラインナップ	5. 3. 7 ～ 4. 9

⑤ 薄井憲二バレエ・コレクション

故薄井憲二氏が世界各地から収集した世界有数の規模を誇るバレエ関連資料（書簡、プログラム、絵画・ポスター、書籍等約 6,500 点）、同バレエ・コレクションの概要、展示情報などをインターネットで配信するとともに、美術館等での展示やバレエ公演のパンフレットのために貸し出した。

内容	貸出先
「週刊オン・ステージ新聞」＜バレエとオペラ＞62	株式会社青林堂
バレエ・リュスの世界	一般社団法人 貞松・浜田バレエ団
関西音楽新聞「Classic Note」5 月 1 日号（839 号）	特定非営利活動法人関西芸術振興会・関西歌劇団
「Symphony」6 月号（Web 記事および公演プログラム）	東京交響楽団
第一回 日本ダンス研究会 シンポジウム発表「踊るキュレーター：歴史的な資料と現代の創作の交点から」	神戸大学 関 典子
「週刊オン・ステージ新聞」貞松浜田バレエ団紹介記事	株式会社青林堂
東京フィルハーモニー交響楽団 6 月定期演奏会の冊子と WEB 記事	公益財団法人東京フィルハーモニー交響楽団
読売新聞夕刊（5 月 13 日：関西版）	読売新聞大阪本社
『みんなの音楽学校』新体感！バレエ音楽の世界の公演	サントリーパブリシティサービス株式会社
「パリ・オペラ座 響き合う芸術の殿堂」展チラシ	石橋財団アーティゾン美術館
「踊る牧神」公演チラシ	神戸大学 関 典子
高知ライブエール・プロジェクト「ダンスの系譜学」公演 チラシ・ホームページ	高知県立美術館
「日本アレンスキー協会 NEWS LETTER NO. 23」	日本アレンスキー協会
「ディケンズ・フェロウシップ日本支部 年報第 45 号」	同志社大学 桐山恵子
「ヴィクトリア朝文化研究 Studies in Victorian Culture」20 号	日本ヴィクトリア朝文化研究学会
「ヴィクトリア朝文化研究」第 20 号	神戸大学 関 典子
「日曜美術館」の『Be yourself 汝自身であれ 勅使川原三郎』	NHK エデュケーショナル
展覧会「音楽とバレエ 成り立ちから『瀕死の白鳥』」	株式会社 河内厚郎事務所
青柳いづみこ CD「仮面のある風景 F. クーラン作品集」ジャケット	タカギクラヴィア株式会社
「ジゼル」（全 9 回）公演リーフレット	公益財団法人新国立劇場運営財団
慶應 MCC agora（社会人向け生涯学習講座）	プレジール・レター株式会社
リベラルアーツ for Business	株式会社テレビマンユニオン
「日本アレンスキー協会 NEWS LETTER NO. 24」	日本アレンスキー協会
講座「大人のアート時間～劇場の電化とバレリーナ」 チラシ	西宮市男女共同参画センターウェブ
外部識者寄稿企画「発言」（平野恵美子氏執筆）	東愛知新聞社

内容	貸出先
「バレエ《くるみ割り人形》の秘密」(講師：平野恵美子、アシスタント：斎藤茂) 説明資料	OTTAVA株式会社
「マリー・ローランサンとモード」展(4か所巡回)	株式会社東急文化村、京都市美術館、名古屋市美術館、株式会社美術デザイン研究所
Petit GRACE 第3回発表会プログラム(吹田市立山田ふれあい文化センター)	若林絵美

(3) ひょうごプレミアム芸術デーの開催

県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県立芸術文化施設の無料開放や、特別イベントを実施するひょうごプレミアム芸術デーを開催した。(入場者数延べ5,456人)

実施日：令和4年11月9日(水)

内 容：施設の無料開放

【大ホール】わくわくオーケストラ教室	1,353人
安藤忠雄×佐渡裕「特別対談」	1,507人
【中ホール】オトナのための上方落語鑑賞教室	743人
躍るバトン！舞台機構ショー	360人
【小ホール】ピアノのヒミツ(2回)	667人
現役音大生によるピアノコンサート	532人
【全 館】わくわくスタンプラリー	294人

4 東日本大震災復興祈念等の継続的な取組

- ・スーパーキッズ・オーケストラの継続的な東日本大震災被災地訪問演奏活動
- ・東日本大震災復興祈念等事業資金

大口の寄附金収入等を「東日本大震災復興祈念等事業資金」として管理し、被災地への支援活動に有効活用。

① 財源：寄附金、表彰副賞、委員謝金 等

- *第2回貝原俊民美しい兵庫づくり賞副賞(地域政策研究会500千円)、神戸新聞平和賞副賞(神戸新聞300千円)、福島原発事故賠償金(東京電力7,386千円)、大口の寄附金(H25:2,000千円、H26:4,000千円、H28:3,182千円、H29:55,500千円)等
- *委員謝金：43件 1,475千円、講師謝金：71件 12,398千円(H23～R4)

② 充当事業

- (ア) スーパーキッズ・オーケストラによる被災地訪問演奏
- (イ) PACメンバーによる被災地アウトリーチ活動
- (ウ) プロデュースオペラ、楽団定期演奏会等への被災者招待 等

- ・スーパーキッズ・オーケストラ事業推進資産

サントリーホールディングス㈱がスーパーキッズ・オーケストラの設立趣旨や東日本大震災復興祈念活動に賛同して寄附(平成26年度)いただいた150,000千円を原資に東北への訪問、合宿等の事業活動(平成27年度から10年間)を展開(サントリー「東北サンさんプロジェクト」)

5 施設の管理運営事業（発表・交流の場の提供）

施設運営の基本コンセプト

- ① 発信する劇場としてセンター・楽団自主企画事業を中心に運営
- ② 専門性の高い劇場（機能・設備・スタッフ）の特性が生かされる舞台芸術公演の利用促進
- ③ 県民の多様な創造活動の発表の場、劇場空間への親しみ・交流機会を通じて芸術文化の裾野拡大
- ④ フレキシブルで使い勝手の良い運営、開放性と賑わいで街づくりの一翼を形成

（１）施設の管理運営

＊ 施設利用（貸館）受付の状況

（ⅰ）本格的舞台芸術公演の優先利用受付（18 か月前受付）

毎月1日から18 か月後の月分を受付

（ⅱ）一般（貸館）利用受付

a ホール（12 か月前受付）

毎月1日に翌年度の当該月分を受付。受付開始後は4 か月前の末日までに随時受付

【ホール利用実績】令和4年4月～5年3月

ホール	開館日数		利用日数		利用日数内訳	
					主催事業	貸館事業
	基準	実績	基準	実績	実績	実績
KOBELCO 大ホール	290	322	203 (70%)	302 (148.8%) [93.8%]	228 [75.5%]	74 [24.5%]
阪急 中ホール		307		293 (144.3%) [95.4%]	225 [76.8%]	68 [23.2%]
神戸女学院 小ホール		309		303 (149.3%) [98.1%]	83 [27.4%]	220 [72.6%]

※ 基準：県収支枠組における施設維持管理費、スタッフ配置、施設使用料収入の算定基礎としたもの

※ 利用日数の（ ）内：利用日数（基準）と比較した利用率、[]内：開館日数（実績）と比較した利用率

※ 利用日数内訳の[]内：利用日数（実績）における比率

b スタジオ、リハーサル室（3 か月前受付）

毎月1日に3 か月後の月分を受付。受付開始後は、前日まで随時受付。

【リハーサル室・スタジオ利用】

施設名			開館日数	利用日数
リハーサル室	1	331㎡（ピアノ有り）	323	293 [90.7%]
	2	88㎡（ピアノ有り）	307	306 [99.7%]
スタジオ	1	22㎡	296	226 [76.4%]
	2	22㎡	296	248 [83.8%]
	3	22㎡（ピアノ有り）	295	268 [90.8%]
	4	11㎡（ピアノ有り）	297	297 [100.0%]
	5	82㎡（ピアノ有り）	300	300 [100.0%]

※施設（ホール、リハーサル室・スタジオ）利用登録件数（累計）4, 256件

＜ホール別の貸館事業数・公演数＞（令和４年４月～５年３月）

区分	KOBELCO 大ホール	阪急 中ホール	神戸女学院小ホール	計
貸館事業	61 事業 73 公演	46 事業 57 公演	218 事業 229 公演	325 事業 359 公演

（＊芸術文化センター各ホール公演総数（主催＋貸館 652 公演）

【付属駐車場利用】（令和４年４月～５年３月）

施設名	開館日数	利用台数（台）
付属駐車場	3 0 3	延べ利用台数 2 3, 4 6 1

【利用料収入】

（単位：円、税込）

施設名		金 額	
		R 4	R 3 (参考)
区分	大ホール	57, 416, 130	45, 277, 400
	中ホール	18, 643, 290	19, 324, 080
	小ホール	23, 575, 250	20, 876, 360
	リハーサル室	4, 093, 400	4, 346, 350
	スタジオ	4, 439, 400	3, 622, 700
ホール等計		108, 167, 470	93, 446, 890
附属設備		45, 679, 650	35, 271, 100
附属駐車場		14, 331, 000	11, 243, 850
合 計		168, 178, 120	139, 961, 840

① 人材育成

（ア）舞台技術関係者等の育成

舞台技術の現場に携わるスタッフや舞台技術専攻学生等を対象に、センターの舞台設備を活用して、劇場のあり方・技術向上の観点から舞台技術を継承・発展、創造活動支援を促進（舞台技術セミナー １月１８日）

（イ）アートマネジメント講座の開催

文化施設職員等を対象に、アートマネジメントに必要な専門的知識・技術を習得させることを目的として開催。

内 容		開催日	参加者（人）
第１回	「文化政策の動向と文化庁予算」 講師：文化庁企画調整課課長補佐 堀内威志	5. 2. 16	29
第２回	「指定管理者制度」 講師：帝塚山大学名誉教授 中川幾郎 「県内公設館の状況」 事例発表：田園交響ホール、やしろ国際学習塾、郷の音ホール	5. 3. 10	41
合 計		2 事業 2 回	70

(ウ) アートマネジメント関係の人材育成 ほか

事業名	期間	参加者	参加者 (人)	備考
大学でのアートマネジメント講座	通年	武庫川女子大学	12	講師派遣 (1人)
大学でのアートマネジメント講座	通年	大阪芸術大学	105	講師派遣 (2人)
芸文センターでのアートマネジメント講座	4. 4. 27 4. 9. 13	神戸女学院大学 大阪音楽大学	40 8	運営業務
大学での文化施設管理運営講座	4. 12. 9	静岡文化芸術大学	22	講師派遣 (1人)
舞台技術セミナー	5. 1. 19	愛知県芸術劇場	40	講師派遣 (1人)
舞台技術研修会	5. 1. 20	全国公立文化施設協会 中国支部	40	講師派遣 (1人)

(エ) 芸術文化観光専門職大学「臨地実務実習」の受入れ

標記大学のカリキュラムの一環として設定された、「臨地実務実習施設」として、学生2名を2週間（5. 2. 7～5. 2. 17）受け入れた。

※臨地実務実習：舞台設備のある文化施設で実際に働き、現場の経験を積むことにより、劇場運営にかかわる基礎的な職業能力の修得を目的とする。

(オ) 体験学習等

事業名	期 間	参加者	参加者 (人)
トライやる・ウィーク (中学2年生)	4. 5. 25 ～27	西宮市立瓦木中学校	5
	4. 6. 23 ～24	西宮市立真砂中学校	4
	4. 6. 28 ～30	西宮市立平木中学校	5
	4. 11. 29 ～30	西宮市立甲武中学校	7
初任者研修に係る社会体験研修(教員)	4. 8. 4	西宮市立今津中学校 西宮市立甲武中学校 西宮市立深津中学校 尼崎市立常陽中学校 西宮市立鳴尾北小学校 西宮市立津門小学校 西宮市立神原小学校 西宮市立上ヶ原小学校	10

② 地域連携・にぎわいづくり事業

(ア) 西北活性化協議会

芸術文化センターの開館を機に、センターを核とした地域全体の振興発展と活性化を目的に平成18年4月1日に設立(構成：にしきた商店街、芸術文化センター、阪急西宮ガーデンズ)。センターと地元が一体となって様々なイベントを実施し、地域のにぎわいを創出。

〔令和4年度〕（2022年度）イベント等

内 容		開催日	参加者 (人)
プロデュースオペラ 「ラ・ボエーム」前夜祭	前夜祭（阪急中ホール） にしきた仮装大会 さきどり！ラ・ボエーム ほか	4. 7. 14	333
LALALA にしきたミュージ ーション・コンテスト 2022（第15回）	“にしきたを音楽の街に”をテーマに、街の アーティストの活動支援を行う。 ジャズ・軽音楽 等（阪急中ホール）	4. 11. 18 （決戦）	555
クリスマス・イベント	プロデュースオペラ 2023「ドン・ジョバン ニ」プレ・イベント にしきたクリスマス with モーツァルト SKOの演奏、フェリーチェ音楽院、ダンステ ク・インターナショナル	4. 12. 4	450

（イ）地元企業との連携

県内外からのお客様へのホスピタリティの向上の一環として、常日頃から関係の深い地元企業職員をホールに招き相互研修会を開催（阪急タクシー、阪急西宮北口駅）

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止

（2）公立ホール等との連携

① 公立文化施設協議会等

兵庫県公立文化施設協議会（加盟 37 ホール）会長（事務局）、全国公立文化施設協議会近畿地区支部長、多面・大規模舞台劇場協議会、劇場、音楽堂等連絡協議会メンバーとして県内外ホール間の連携を深めた。

*兵庫県公立文化施設協議会（第1回幹事会・定例総会 7月7日、第2回幹事会 1月25日、研修会 8月30日、10月6日）

② 公共劇場舞台技術者連絡会

公共劇場舞台技術者連絡会（公立の劇場やホールで舞台芸術を支える劇場技術者が連携して平成21年設立：加盟 26 ホール）の副会長として、舞台技術員が参画し、各劇場間の諸問題の調査研究、情報交換等を通して、公演の円滑な進行管理と安全確保、技術的専門性の確立を目指した。

③ 主な全国の公立ホール整備への支援

センター職員の委員就任や視察受入、講演等を通じてアドバイス。

〔参考〕・仙台市（宮城県）：「兵庫・芸術文化センター」をモデルに復興のシンボルとして「新音楽ホール」整備をめざし、平成29年に「音楽ホール検討懇話会」を設置。令和4年、音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点との複合整備と、青葉山交流広場への立地を発表し、現在懇話会で検討中。

・堺市（大阪府）：旧市民会館にかわる「フェニーチェ堺」（堺市民芸術文化ホール）を新設。平成28年度建設工事着手。令和元年10月1日オープン。

・枚方市（大阪府）：老朽化した市民会館に替わる「総合文化施設」（枚方市総合文化芸術センター）を整備。平成27年2月に公募型プロポーザル方式により設計事業者選定。平成27年度設計業務着手。平成29年度着工、令和3年8月30日オープン。

・高槻市（大阪府）：老朽化した市民会館の建替。平成27年度基本計画策定。平成28年度設計業務。令和元年度建設工事着手、令和5年3月18日オープン。

・姫路市：姫路市文化事業の推進のため、姫路駅東側のキャストィ21イベントゾーン内に「知と文化・産業の交流拠点」をコンセプトに文化コンベンション施設を整備。「姫

路市文化コンベンションセンター「アクリエ姫路」として令和3年9月1日オープン。

- ・札幌市：札幌市の文化事業振興のため、平成30年に完成した札幌文化芸術劇場に導入する舞台機構のシステム構築に係る助言を求められ、舞台機構アドバイザーとして当センターの舞台技術の専門職員を意見交換会に派遣（平成29年度）。
- ・養父市：職員が専門委員に就任。令和3年9月14日オープン。

＊その他、全国から視察を受入（令和4年度：鳥取県文化振興財団、広島県庁、宮城県庁、いわき芸術文化交流館、静岡県議会、淡路教育事務協議会、東京都港区議会、仙台市議会、秋田県庁）

（３）各ホールネーミングライツ・スポンサー

【愛称の使用期間】

令和5年4月1日から令和8年3月31日まで（3年間） ＊6期目

【ネーミングライツスポンサー及び愛称】

正式名称	ネーミングライツスポンサー	愛 称	金 額
大ホール	株式会社神戸製鋼所	KOBELCO 大ホール	3,000 万円（税抜）
中ホール	阪急電鉄株式会社	阪急 中ホール	1,500 万円（税抜）
小ホール	学校法人神戸女学院	神戸女学院小ホール	500 万円（税抜）

（主な表示物）看板、ポスター、チラシ、会報誌、情報誌、広告、ホームページ、チケット

（４）賛助会員制度及び各種助成制度の活用等

① 賛助会員制度

自主企画事業の充実、センター及び楽団の活動を広く県民に理解してもらうための広報宣伝などセンターの多彩な活動を支援いただくため、文化に関心を寄せる県内主要企業、地元企業等を対象に賛助会員を募る。（令和5年3月現在 17社）

【実績】特別賛助会員 ゴールド会員 年額（3,000 千円）1 社

シルバー会員 年額（1,000 千円）3 社

一般賛助会員 13 社 27 口（1 口 50 千円） 計 735 万円

② 各種助成制度

県補助金をベースに経営効率を高めるとともに、ファンの期待に応えるメニュー充実、舞台グレードアップ、公演数拡大、広報強化等の資金として、文化庁や民間財団等の公的助成の積極的な獲得に努めた。

＊（独法）日本芸術文化振興会 劇場・音楽堂等機能強化推進事業、舞台芸術創造活動活性化事業、文化庁 文化施設の活動継続・発展等支援事業 ほか

【実績】（独法）日本芸術文化振興会（劇場・音楽堂等機能強化推進事業、舞台芸術創造活性化事業） 43 事業

文化庁（文化施設の活動継続・発展等支援事業） 1 事業

（一財）地域創造 1 事業

（公財）三菱UFJ信託芸術文化財団 1 事業

（一財）みなと銀行文化振興財団 1 事業

（公財）花王芸術科学財団 1 事業

計 9,059 万円

③ 民間支援の受入れ（主なもの）

- （ア）NPO法人イエロー・エンジェル（理事長：宗次徳二氏・名古屋市）による
コントラバスの無償貸与
コントラバス名：ヤナリス・ガリアーノ（1776年・イタリア製）ほか
- （イ）株式会社松尾楽器商会からピアノ「スタインウェイ」1台を無償貸与

④ 多額寄附金の活用

（ア）三村正之氏からの寄附

兵庫県立芸術文化センター管弦楽団をはじめとした、新進音楽家の活動支援及び次世代を担う子どもたちの音楽体験活動を支援。

金額 50,000 千円（「Aloha Mimura 基金（兵庫県立芸術文化センター音楽振興資産）」として管理・運営。H29 から 5 年を目途に音楽事業活動に充当。

（イ）スーパーキッズ・オーケストラ事業推進資産（再掲）

サントリーホールディングス㈱がスーパーキッズ・オーケストラの設立趣旨や東日本大震災復興祈念活動に賛同して寄附（平成 26 年度）いただいた 150,000 千円を原資に東北への訪問、合宿等の事業活動（平成 27 年度から 10 年間）を展開（サントリー「東北サンさんプロジェクト」）

（ウ）ふるさとひょうご寄附金「県立芸術文化センター応援プロジェクト事業」

兵庫県の「ふるさとひょうご寄附金」に「県立芸術文化センター応援プロジェクト」のメニューを設けており、集まった寄附金を原資として、障がいのある方、高齢者、妊婦の方など誰もが快適に舞台芸術を楽しんでいただけるよう、手すりやベンチの設置などより利用しやすい施設づくりに活用。

（５）中長期的取り組み

次年度以降の事業計画づくり

多彩な舞台芸術を創造・発信していく芸術文化センター及び同管弦楽団の次年度以降の事業展開に向けて、芸術監督とともに長期的な計画づくりを進め、企画検討、事前調査、出演者等の交渉・調整、プランの作成、舞台の制作準備など、事業準備を行った。

6 その他、施設利用者の利便向上への取り組み（収益事業）

- ・有料駐車場の運営（時間貸、収容台数 約 100 台）
- ・レストランスペースの貸出
- ・関連グッズのショップ設置・運営

令和4年度芸術文化センター来館者総数

(1) 公演入場者

ホール名	公演入場者数 (人)
KOBELCO 大ホール	265,932
阪急 中ホール	108,522
神戸女学院 小ホール	53,727
計	428,181
	主催：282,257 貸館：145,924

(2) 総来館者数

公演入場者	428,181 人
広報・普及イベント参加者	60,917 人
ホール出演者・スタッフ等	48,057 人
リハーサル室・スタジオ利用者	30,063 人
チケット購入者・レストラン利用者・共通ロビー来館者等	65,810 人
計	633,028 人

(参考) 開館以来の来館者総数

項目	公演入場者数 (人)	各種来館者数 (人)	計
平成 17 年度	151,809	207,051	358,860
平成 18 年度	494,746	295,635	790,381
平成 19 年度	537,176	301,662	838,838
平成 20 年度	536,202	285,211	821,413
平成 21 年度	538,020	280,278	818,298
平成 22 年度	536,453	264,830	801,283
平成 23 年度	499,039	240,106	739,145
平成 24 年度	498,524	244,887	743,411
平成 25 年度	509,952	251,643	761,595
平成 26 年度	486,525	244,939	731,464
平成 27 年度	499,550	284,776	784,326
平成 28 年度	478,393	229,702	708,095
平成 29 年度	537,021	248,851	785,872
平成 30 年度	529,050	258,331	787,381
令和元年度	471,241	233,076	704,317
令和2年度	120,414	102,548	222,962
令和3年度	283,363	193,408	476,771
令和4年度	428,181	204,847	633,028
計	8,135,659	4,371,781	12,507,440

受賞 ～栄誉ある評価～

- ・関西元気文化圏賞ニューパワー賞「兵庫芸術文化センター管弦楽団」[H19.1.11 関西元気文化圏推進協議会]
- ・関西元気文化圏賞特別賞 [H23.1.20 関西元気文化圏推進協議会]
- ・地域創造大賞（総務大臣賞） [H23.1.21 (財)地域創造]
- ・神戸新聞平和賞「佐渡裕と兵庫芸術文化センター管弦楽団」[H23.5.3 (株)神戸新聞社]
- ＊賞金(30万円)は東日本大震災被災地へのPACコアメンバーによるアウトリーチ活動等に活用
- ・関西元気文化圏賞10周年記念特別賞「佐渡裕芸術監督」[H25.1.22 関西元気文化圏推進協議会]
- ・第29回ミュージック・ペンクラブ音楽賞「兵庫芸術文化センター管弦楽団」
[H29.4.24 (一財)ミュージック・ペンクラブ・ジャパン]
- ・貝原俊民美しい兵庫づくり賞「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」[H29.11.22(一財)地域政策研究会]
- ・関西元気文化圏賞ニューパワー賞「スーパーキッズ・オーケストラ」[H31.1.22 関西元気文化圏推進協議会]
- ・第44回神戸キワニス青少年ボランティア賞「スーパーキッズ・オーケストラ」[R1.12.4 神戸キワニスクラブ]

感謝状

- ・西宮市消防局（芸術文化センターにおける消防用設備の充実と、職員への防災教育の徹底により、消防行政の推進に貢献している功績に対して）H27.3.6
- ・宝塚市（1月17日宝塚市犠牲者慰霊式でのPACメンバーの追悼演奏に対して）H27.3.14
- ・釜石市（東日本大震災被災地からの復興支援への取り組みに対して）R1.7.5
- ・釜石市（東日本大震災被災地での継続的な「こころのビタミンプロジェクト」演奏活動に対して）R4.3.20